

### 文化をつなぐミュージアム 一伝統を未来へ一

第25回 ICOM (国際博物館会議) 京都大会 2019 9月1日〈日〉-7日〈土〉

プログラム





# DOWNLOAD THE OFFICIAL ICOM KYOTO 2019 APP

ICOM KYOTO 2019 公式アプリ





Store search ストア検索

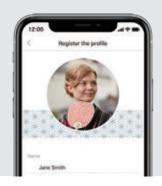
ICOM KYOTO



#### NETWORK

Find other ICOM Kyoto attendees

参加者とつながるプロフィールを登録して参加者と交流を深めましょう



#### SCHEDULE

View events by time and location

スケジュールを確認 大会期間中のイベントや展示をチェックできます



#### CUSTOMISE

Personalise your ICOM Kyoto experience

お気に入りに登録 気になるイベントを登録していつでもすばやくアクセスできます





NETWORK (SSID): ICOMKYOTO2019-Free-WiFi

PASSWORD (PW): icomkyoto2019



Musenavi is a guide app developed by People Software. Visit www.pscsrv.co.jp for more information. ICOM KYOTO 2019 公式アプリではピープルソフトウェアのガイドアプリ**ጠ∪s∈∩にvi**が使われています

| ご挨拶              | 4  |
|------------------|----|
| 運営組織             | 6  |
| ICOMについて         | 8  |
| ICOM大会について       | 10 |
| 大会テーマ            | 11 |
| ICOM京都大会ポスターについて | 12 |
| 基調講演             | 13 |
| 隈 研吾             | 14 |
| セバスチャン サルガド      | 16 |
| 蔡 國強             | 18 |
| プレナリー・セッション      | 21 |
| 博物館による持続可能な未来の共創 | 22 |
| ICOM博物館定義の再考     |    |
| 被災時の博物館          |    |
| 世界のアジア美術とミュージアム  | 28 |
| プログラム詳細          | 31 |
| ICOM委員会等リスト      | 32 |
| 9.1 (H)          | 33 |
| 9.2 (月)          | 35 |
| 9.3 (火)          | 43 |
| 9.4 (7k)         | 51 |
| 9.5 (**)         | 59 |
| 9.6 (金)          | 60 |
| 9.7 (±)          | 61 |

| ソーシャル・プログラム          | 53 |
|----------------------|----|
| ソーシャル・プログラム          | 54 |
| エクスカーション             | 56 |
| インフォメーション            | 57 |
| マップ                  | 71 |
| エリアマップ               | 72 |
| メイン会場                | 74 |
| 国立京都国際会館 (ICC Kyoto) |    |
| サテライト会場 7            | 76 |
| 稲盛記念会館               |    |
| 京都府立京都学・歴彩館          |    |
| ミュージアム・フェア           | 79 |
| 出展者 イベントホール8         | 30 |
| 出展者 ニューホール 8         | 32 |
| 出展者 アネックスホール8        | 34 |
| 協賛 8                 | 37 |
| 広告 9                 | 99 |

1



**プログラム** 日本語

# 世界のミュージアムに 関係する皆様



2019年9月1日から7日まで開催される第25回ICOM(国際博物館会議)京都大会2019にご参加いただき、ICOM役員一同、大変うれしく思っています。本大会が、多様な議論や開催される数々のイベントだけでなく、非常に豊かな文化遺産に出会う機会も含め、皆様にとって、ふだん体験できない貴重な経験になると信じています。

ICOM京都大会のテーマは、「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へ一」です。このテーマ自体が、ミュージアムが多様な社会において将来にわたって果たすべき中心的役割を物語っていると言えるでしょう。収集、保存、コミュニケーション、研究、展示といった主要な役割を維持しながら、ミュージアムはそのミュージアムが属するコミュニティにおける「関連性(relevance)」を追求することで変革しつつあります。ミュージアムは今や、文化間の対話を確立し、平和な世界への架け橋を構築し、そして持続可能な未来を定義することの必要性をこれまで以上に認識しています。

一週間に及ぶICOM大会は、ICOMという組織にとって、最も重要な事業と言えます。プレナリー・セッション(全体会合)やワークショップ、各種委員会の会議、役員選挙だけでなく、会員や参加者がネットワークを構築する貴重な機会ともなるでしょう。その意味において、ICOM京都大会は、現在、138の国と地域を代表する44,500を超えるICOMの会員をさらに増加させる重要な機会となります。また、開催地・京都の位置するアジア太平洋地域から、より多くの参加者が集まることは、今回の大会に、より幅広い考え方をもたらすことになるでしょう。

ICOM京都大会のもう一つの際立った特徴は、さまざまなセッションで取り組まれる主題の多様性と話題性です。21世紀の複雑さが社会やミュージアムに与える影響については、ミュージアムの専門家によって、持続可能な開発、災害レジリエンス、デコロナイゼーション、博物館の定義の再考等の解決の糸口とすべく、さまざまな文化的分野や専門的見地から議論されることになります。

そのほかにも、京都には、見ること、味わうこと、発見する

ことなど、多くの楽しみがあります。「伝統を未来へ」について語る場として、この千年の都・京都よりも優れた文化的なハブ (結節点) はないでしょう。大会期間中、皆様は、京都とその周辺地域を探索する機会が多くあることと思います。ぜひ、京都の路地を歩き回って、好奇心と驚きをもっていろいろな人々と交流してください。

日本の主催者とともに皆様をICOM大会に歓迎することは、 私にとって喜びであり名誉です。皆様の大会への参加と貢献 が、ICOM京都大会を知識と異文化間対話とを結びつけ、相 互理解と平和構築を促進する機会となるでしょう。

ICOM京都大会が将来にわたって、忘れられない記憶となることを確信しています。

Suayalsoy

ICOM会長 スアイ・アクソイ Suay AKSOY

# ICOM京都大会へ ご参加の皆様



世界各地から第25回ICOM (国際博物館会議) 京都大会2019 にご参加いただき、誠にありがとうございます。ICOM京都 大会2019組織委員長として、心より御礼申し上げます。

ICOM京都大会は9月1日から7日まで一週間にわたって、国立京都国際会館を中心に、京都市内各所で開催されます。組織委員会では、2015年の開催決定以来、4年以上、招致期間を含めるとそれ以上の長期にわたり、地元、京都府・京都市のご協力のもと、誠心誠意準備を進めてまいりました。ぜひ、ご参加いただいた皆様には、有意義な時間を過ごしていただきたいと思っています。

大会のテーマは、「文化をつなぐミュージアム― 伝統を未来へ―」です。多様化・複雑化する社会において、ミュージアムは従来の、文化財を保存し、活用するという伝統的な役割に加え、新たな社会的役割を求められています。本大会では、9月2日から4日にかけて、「持続可能な未来の共創」、「ICOM博物館定義の再考」、「被災時の博物館」、「世界のアジア美術とミュージアム」という4つのプレナリー・セッション(全体会合)を用意いたしました。それぞれ、ミュージアムがどのように社会に貢献できるのか議論することを目的としており、その後のワークショップ等での議論を通じて、ミュージアムの役割そのものを問い直すことを目指しています。

会場である国立京都国際会館は、1997年に開催された第3回気候変動枠組条約締約国会議(COP3)において、京都議定書が締結された場であり、まさに博物館の新たな価値を議論する場としてふさわしい会場であると言えるでしょう。基調講演につきましても、ミュージアムの新たな役割を考えるのに最適な世界的に著名な方々をお招きしており、限研吾氏は建築家として、セバスチャン・サルガド氏は写真家として、蔡國強氏は現代アーティストとして、それぞれのお立場から、文化のハブ(結節点)としてのミュージアムを考える上で示唆に富むお話をいただけることを期待しています。

会議と並行して行われるミュージアム・フェアでは、140を 超えるミュージアムに関連した企業や団体等が出展します。 ミュージアム関連業界の裾野の広がりや、多様性を知る機会 にもなると思います。

大会期間中は、京都府市内で様々な催しも行われます。開会パーティーは国立京都国際会館、閉会パーティーは京都国立博物館で行われ、会期中の夜間は、ソーシャル・イベントが京都の文化エリアで開催されます。そこで行われる伝統的、現代的なパフォーマンス等は、京都の過去と現在に通底する文化的な素地について知る機会となるでしょう。そのほかにも関連するミュージアムや団体等による様々な関連イベントが企画されています。さらに、エクスカーションでは、京都府市を中心とした多様な歴史や文化に触れる絶好の機会になると思います。

京都は伝統と歴史だけでなく、未来を志向した最新テクノロジーや新たな文化を生み出す、文字通り大会テーマを体現したすばらしい都市です。2019年「全国市区における持続可能な開発目標(SDGs)ランキング」(日本経済新聞)において、京都市は日本の815都市の中から第1位に選ばれています。ぜひ、大会を通じて、ミュージアム専門家同士の交流の機会としていただくと同時に、日本、京都の魅力を知る機会としていただけましたら幸いです。

ICOM京都大会が、ICOMと世界の博物館の歴史に新たな1ページを刻み、皆様の記憶に残る大会となることを期待しています。

佐山本五年

ICOM京都大会2019組織委員長 佐々木 丞平

#### 主催



#### 国際博物館会議

Maison de l'UNESCO, 1 rue Miollis, 75732 Paris Cedex 15, France TEL: +33 (0)1 47 34 05 00 FAX: +33 (0)1 43 06 78 62 http://icom.museum/



#### ICOM 京都大会2019組織委員会

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL: 075-561-2127 FAX: 075-561-2131 E-mail: of fice@icomkyoto2019.kyotohttps://icom-kyoto-2019.org/jp/



#### ICOM 日本委員会

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-52 黒田記念館別館3階 TEL: 03-5832-9108 FAX: 03-5832-9109

E-mail: icom@j-muse.or.jp http://www.j-muse.or.jp/icom/



#### 日本博物館協会

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-52 黒田記念館別館3階

TEL: 03-5832-9108 FAX: 03-5832-9109

E-mail: webmaster@j-muse.or.jphttps://www.j-muse.or.jp/

#### 共同主催



#### 日本学術会議

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34 TEL: 03-3403-3793 FAX: 03-3403-1260

http://www.scj.go.jp

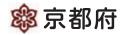
#### 運営事務局

ICOM 京都大会2019 運営事務局 (株式会社コングレ内)

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 TEL: 080-4982-0068 FAX: 06-6229-2556

E-mail: icom2019@congre.co.jp

#### パートナー



京都府



文化庁

独立行政法人 国立美術館

独立行政法人国立美術館

ICOM京都大会2019京都推進委員会



京都市



独立行政法人国立文化財機構



The Getty Foundation



### ICOM Elt

ICOM (国際博物館会議) は世界唯一のグローバルな博物館組織であり、各地の博物館及び博物館専門家が倫理的基準と革新的 実践について話し合い、交流するための国内的、地域的及び国際的な場を提供しています。

ICOMは1946年の創設以来、博物館及びそこに委託された遺産の保護と振興に取り組んできました。遺産には、自然遺産、文化遺産、現在の遺産、未来の遺産、有形の遺産、無形の遺産が含まれます。また、情報、インスピレーション、洞察を与える貴重な場として、博物館が持続可能な社会の発展に果たす重要な役割を発信しています。

現在、ICOMは138の国と地域を代表する44,500人以上の会員で構成される世界的なネットワークとなり、会員は118の国内委員会に所属しています。また、6つの地域連盟並びに博物館の様々な専門業務に取り組む30の国際委員会を擁しています。

国際委員会はICOMのシンクタンクであり、各専門分野の研究の促進と知識の深化に自発的に取り組む熱心な個人会員で構成されています。さらにICOMの特別委員会は、博物館の定義、災害リスクマネジメント、倫理問題などのICOMにとって今日的なテーマを扱っています。ICOMの各委員会は、世界各地で毎年、200件前後の会議やワークショップを開いています。

# 2018年 基本データ

44,686



118



138



30



#### 主要な事業

#### 遺産の保護



出版



各種規範の策定



人材育成



問題意識の醸成



ICOM及び世界の博物館関係者が共有する価値観と原則をまとめたものが『ICOM博物館倫理規程』です。ここには博物館の専門的業務及び役割の最低基準が定められており、またその前提が多くの国の法律に盛り込まれていることから、この倫理規程は博物館の国際的倫理基準として公式に認められています。

ICOMは、自然災害によるものか人災によるものかを問わず、 危険にさらされている遺産の保護に力を入れています。ICOM 災害リスクマネジメント委員会(DRMC)では遺産の専門家が集結 し、深刻な災害に見舞われた国の支援に当たるとともに、予防保 存対策を講じて被害の最小化や拡散防止に努めています。

またICOMは、過去20年にわたり、文化財の不法取引を防止するために主導的な役割を果たしてきました。その主要な手段となるのがICOMレッドリストです。これは不法取引の恐れがある文化財をカテゴリー別に分類して、違法な売買や輸出を防ぐためのリストで、こうしたツールは、イラク、アフガニスタン及びマリの文化財数千点の特定、回収、返還に役立てられてきました。

ICOMは、知識とノウハウの共有を優先事項に位置付けており、世界中で発展しつつある博物館コミュニティのメンバーのために、人材育成(キャパシティビルディング)を目的としたワークショップを開催し、世界水準の研修や博物館専門家間の異文化

対話を促進しています。北京のICOM国際研修センター(ICOM-ITC)もその一つです。さらにICOMは、2016年から査読付きの学術雑誌Museum Internationalを発行しており、2018年には、研究に基づくモノグラフシリーズ『ICOM博物館研究の進歩』(ICOM Advances in Museum Research)を刊行しました。

ICOMは、国際舞台におけるグローバルな博物館コミュニティの主な代表として、文化遺産分野の発展に向けた政策を提唱するとともに、博物館の独立性又は十分な公的資金の必要性など、自らが直面する課題について意見表明を行っています。1977年にICOMは5月18日を国際博物館の日に定めており、この日に150以上の国と地域で行われる記念行事の取りまとめも行っています。

博物館には持続可能で公正な社会を実現するための主導的役割を果たす力があると信じています。昨年、ICOMは持続可能性に関する新たなワーキンググループを立ち上げ、持続可能な開発目標及びパリ協定を中心に様々な博物館活動を展開し、気候変動への適応及び緩和に努めてゆくことをミッションに掲げました。またICOMは、近い将来、デコロナイゼーションを活動の中心に据え、コミュニティ、博物館、政府向けのロードマップを提供してゆく予定です。



### ICOM大会

ICOM大会は、世界の博物館が直面している今日的課題と、新たな解決策を話し合うための国際的な会議です。ICOMが1948年以降3年ごとにテーマを定めて開催するこの大会は、世界の博物館関係者が集結して文化交流を強化し、国際協力を深めるとともに、それぞれの地域で博物館活動を推進することによって社会に対する博物館のミッションを継続してゆくことを確認するための場となっています。

パリ大会からミラノ大会まで24回の成功を収めてきたICOM大会は、今回、世界各地から集まった様々なバックグラウンドを持つ3,000人以上の参加者や著名講演者、世界有数の専門家たちとともに、ラウンドテーブル、パネルディスカッション、ネットワーキングイベント及び文化活動を展開してゆきます。

また、ICOM大会ではミュージアム・フェアが同時開催され、博物館がユニークな取り組みを紹介したり、関連企業が最新の技術を紹介したりします。世界中から集まった博物館や遺産の専門家にとって、新たなアイディアや問題解決の糸口を得るまたとない機会となるでしょう。

# 文化をつなぐミュージアム - 伝統を未来へ -

ICOM京都大会のテーマは、「Museums as Cultural Hubs: The Future of Tradition (文化をつなぐミュージアム―伝統を未来へ一)」です。

今、世界中の博物館で、博物館職員やその関係者が、どうすれば博物館が社会に貢献することができるのかを必死に考える時代となっています。地球規模の気候変動や貧困、紛争、自然災害、人権の抑圧、環境問題などを背景に、国際的に政治・経済・社会が大きく変容を遂げている中で、平和で持続可能なよりよい未来を構築するために博物館が果たすべき役割を考えることが、ますます重要になってきているのです。

博物館は、歴史系、美術系、自然史系、科学系、文学系等多種多様な館種が存在し、その設置者や形態、規模も様々ですが、それこそが博物館の特色であり、それぞれの博物館が有機的に連携し、「Cultural Hubs(文化の結節点)」として各地域、さらには国内外の多様な人々や組織とネットワークを構築することによってその存在価値を示し、過去から未来へと社会的役割を果たしていくことが求められています。

ICOM京都大会は、これらの期待に応えるために博物館が何を為すべきかを議論する場としたいと考えています。博物館と博物館、あるいは他の文化・教育・研究施設、地域社会、専門家など、様々なステークホルダーとの連携・協働、国際的な課題の共有、そして、世界中の関係者との議論を通じて考

える博物館の定義の再考、さらにそこから見えてくる各国・ 地域における博物館の課題と今後に求められる改革の在り方 など、これらを考える「場」のキーワードとして掲げたのが 「Museums as Cultural Hubs (文化をつなぐミュージアム)」です。

一方、博物館がその力を発揮するために最も重要な要素は、過去から継承した有形無形の文化遺産の保存と活用です。博物館は未来を考えるための貴重な糧であり、人類共通の宝である文化資源を守り、次世代に引き継ぐとともに、現代に生きる人々のために活用することによって、「Cultural Hubs(文化の結節点)」としての役割を果たすことができます。「The Future of Tradition(伝統を未来へ)」には、過去の文化遺産が今も息づき、伝統として受け継ぎつつ、新たな文化を創造している千年の都・京都でICOM大会が開催されるに際し、伝統を大切にしながら新しい未来を創造するために博物館が果たすべき役割を考えたいという願いが込められています。

このテーマを通じて、様々な文化の繋ぎ役としての「博物館」の可能性を世界各国の博物館関係者と一緒に考えるため、ICOM京都大会では、3人の世界的に著名な知識人による基調講演と4つのプレナリー・セッション(全体会合)、パネル・ディスカッション等を設けていますので、ぜひ参加者全員で活発な議論を展開し、新しい時代の博物館のビジョンを共有していただきたいと思います。

# 光降る街・京都

ICOM 京都大会の公式ポスターに採用された作品のタイトルは、「光降る街・京都」です。 京都の文殊菩薩を題材とし、真ん中に描いてあります。水と油、男と女、塩と砂糖、善と悪等、 相反する概念は、それぞれ別のものではなく、一つのものの部分であるというのが "不二"という言葉で表され、文殊菩薩の左側に描かれています。

作者の絹谷幸二氏は、「私達は、文化芸術に等しみ、心を耕し開き、両極を見つめて、 包み込む様な大きな生命体を実現しなければならない」という思いを込めて作品を描きました。 本作品は大会期間中9月4日まで、国立京都国際会館1階ロビーにて展示されています。









- 1. ICOM京都大会 2019 ポスター
- 2. 光降る街·京都 2018 作者蔵

ICOM==

- 7ラベスク 1985 絹谷幸二 天空美術館
- 4. 祝·飛龍不二法門 2013 絹谷幸二 天空美術館



#### 絹谷 幸二 氏

網谷 幸二(きぬたにこうじ、1943年生まれ)は、日本の画家。東京藝術大学を経て1971年のイタリア留学によってアフレスコ(壁画技法)をさらに深め、帰国後、歴代最年少にて画家の登龍門である安井賞を受賞。多彩な技法を駆使し、エネルギーに満ちあふれた独自の画風を確立した。1997年には長野冬季オリンピック・ポスターの原画制作、2008年には渋谷駅の壁面にパブリック・アートを設置。2001年、日本芸術院会員に任命され、2014年には文化功労者に選出され、「子供夢・アート・アカデミー」を通して子どもたちに文化芸術活動のすばらしさを伝えるためのプロジェクトに関わるなど、美術と社会を結びつける幅広い活動も行っている。



基調講演

# 9. **2** 〈月〉



© PEY INAD

くま けんご

# 隈研吾

建築家

建築家、東京大学教授。1954年生。1979年、東京大学大学院建築学専攻修了。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授を経て、2009年より現職。1997年「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞、2010年「根津美術館」で毎日芸術賞、その他、国内外からの受賞多数。近作に、サントリー美術館、浅草文化観光センター、アオーレ長岡、歌舞伎座、ブザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユ、V&A Dundee等があり、国内外で多数のプロジェクトが進行中。新国立競技場の設計にも携わる。著書に『自然な建築』(岩波新書)、『小さな建築』(岩波新書)、『建築家、走る』(新潮社)、『僕の場所』(大和書房)、『広場』(淡交社)、『場所原論』(市ヶ谷出版社)等。

http://kkaa.co.jp/

- Kodama (Italy)
   Photo by Kengo Kuma & Associates
- 2. V&A Dundee (Scotland, UK) Photo by Hufton+Crow
- 3. 梼原 木橋ミュージアム Photo by Takumi Ota



#### 講演内容

# 森の時代

20世紀、人間は自然の力を過小評価するようになりました。私 たちは皆、自然への敬意を失い、自分たちがすべてをコントロー ルできると誤解したのです。

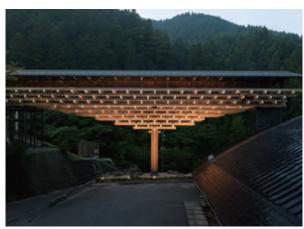
日本人はかつて、自然との付き合い方を知っていました。自然 に立ち向かおうとしても無駄で、勝てる相手ではないということ です。自然と共に生きていくには、自然への理解と敬意が不可欠 であり、そうした賢明さにより、人々は家をあまり高くつくらない ようにしていました。

しかし20世紀を通して、人々は「強い」素材でできた「大きくて強い」建築を作ろうと、コンクリートや鉄を志向するようになります。木や石、土でできた伝統的な建物は、「弱い」、「時代遅れ」なものだと見なされました。コンクリートと鉄に支配された、インターナショナル・スタイルの近代建築は、人間と場所とのつながりを断ち切りました。

私たちは今、「場所」を主役とする脱工業化社会に生きています。「物」の生産と「国家」を枠組みとした工業化の時代は去りました。「小さな場所の力」が見直される時代へと世界は転換し、建築もまた、再び人と場所をつなぐ媒介として変化しているのです。ミュージアムもまた人と場所とのつながりを強めるための、大事な道具になることが求められています。我々がデザインしたV&A Dundeeは、そのような意図のデザインです。

講演では、「コンクリートの時代」から「森の時代」への変化の中で、私がどのように建築をデザインしているか、お話しします。

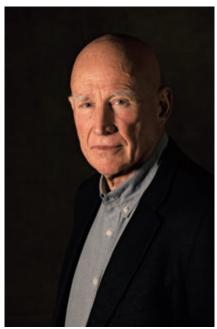




3

15

# 9. 3 (火)



©Yann Arthus-Bertrand

セバスチャン サルガド

# Sebastião Salgado

写真家

写真家。1944年ブラジル・ミナスジェライス州生れ。現在はパリに在住。大学院で経済学を専攻した後、1973年パリにてフリーランスの写真家としてキャリアを開始。1994年レリア・ワニック・サルガド(Lelia Wanick Salgado)と共にアマゾンナス・イメージ(Amazonas Images)を設立し、以後自身の作品制作に取り組んできた。撮影のため訪れた国は100カ国以上。作品は報道や出版物で紹介されるほか、これら作品の巡回展を通じて、世界中の美術館やギャラリーで紹介されている。

また、サルガドはその業績に対して数々の賞を受賞しており、フランス文化省のナショナルグランプリをはじめ、権威ある褒章の受章者でもある。その他、2016年フランス芸術アカデミー会員に選出、レジオン・ドヌール勲章のシュヴァリエを受章。アメリカ芸術科学アカデミーの名誉会員でもある。2019年にはアメリカ文学芸術アカデミーの外国人名誉会員に選出され、ドイツ出版協会平和賞を受賞している。

近年は、ブラジルのアマゾンと、そこに暮らす先住民のコミュニティーをテーマにした撮影活動に取り組み、2021年に新たな著書の刊行と展覧会の開催を予定している。

- Chemical sprays protect this fire fighter against the heat of the flames. Greater Burhan, after the Gulf War. Kuwait, 1991.
- Korubo members of the Pinu family. Indigenous territory of the Javari Valley. State of Amazonas, Brazil. 2017.
- 3. Group of Waura fishing in the Piulaga Lake. Upper Xingu, Mato Grosso Brazil. 2005.



#### 講演内容

# アマゾン熱帯雨林保護 - ブラジリアン イニシアティブ --

アマゾンの森林破壊、牧畜や大豆プランテーションの開墾を 目的とする原生林での大規模な野焼き、個人の金採掘者による 河川の汚染、違法伐採者による未接触地域への侵入など、アマゾ ン地域の環境破壊に関する話は、毎日のように耳にされているは ずです。これらはすべて事実であるのみならず、現実はさらに深 刻です。

世界最大の熱帯雨林アマゾンの破壊は、間違いなく進んでいます。その一方で、ブラジル国内のアマゾン熱帯雨林の81%は未だ手つかずのまま残されており、ブラジルにはこの残された森林を保護する共通の責任があります。その責任をいち早く果たせるよう、アマゾン一帯の保護と持続可能な管理に役立つ画期的な枠組みの整備に、私たちは率先して取り組む必要があります。アマゾン熱帯雨林を古くから守り続けてきた先住民は、これまで同様、この取り組みにおける中心的な役割を果たしてくれるでしょう。

また、森林破壊も紛れもない事実であり、環境破壊は特に国 有・私有地で最も深刻ですが、その60%以上は未だ森林に覆われ、 手つかずのまま残されています。こうした非接触地域の実態を把 握するため、私たちは長期間にわたる撮影旅行を通し、ブラジル 国内のアマゾン熱帯雨林と共生する未接触先住民の生活を記録 してきました。私が撮影したのは、クイクロ族、カマユラ族、ワウ ラ族などのアルトシングー地域に居住する先住民部族に加え、ゾ エ族、アワ族、ヤノマミ族、アシャニンカ族、ヤワナワ族、スルワ ラ族、コルボ族などのアマゾン奥地で暮らす民族グループです。

さらに、アマゾン川本流に流れ込む多数の支流が織り成す複雑な迷路や、雨季から乾季への変化に伴う水位の大幅な変化を地上や上空から撮影した写真、未接触地域の森林及びジャングルでの野焼きにより上空数千フィートの高さまで舞い上がる噴煙を上空から撮影した写真など、アマゾン全域をカバーするアーカイブを構築しています。

本撮影に関する書籍の出版及び展示が、アマゾンの熱帯雨林や先住民を保護する必要性をより多くの方々理解していただくことにつながり、さらなる被害を生むことなく天然及び人的資源の活用を可能にする新たな方法が生み出されるきっかけとなることを願っています。





17

# 9.4 (7k)



Photo by Yvonne Zhao, courtesy Cai Studio

さい こっきょう/ツァイ グオチャン

# 蔡國強

アーティスト

1957年中国福建泉州生まれ。1981年から1985年まで上海 演劇大学美術学部で舞台デザインを学ぶ。それを機に絵画、 インスタレーション、ビデオ、パフォーマンスなど多様なアー トを組み合わせた作品を制作するようになった。生まれ故郷 である泉州で火薬を用いた作品制作の実験を始め、その後 1986年から1995年までの日本滞在中には、火薬の特性を追 求し続け、のちに代表作である火薬を使った野外イベントを 展開していくことになる。蔡國強の作品は、東洋哲学と現代の 社会問題を根底に据え、文化と歴史に応答しようとするもの であり、作品を見る者とそれを取り囲む広い宇宙の間をつな げていく。火薬を使ったアートやインスタレーションは、二次 元の世界を超えて、社会と自然に係っていく力を感じさせる。 1999年ヴェネツィア・ビエンナーレ「国際金獅子賞」、 2007年「ヒロシマ賞」、2009年「福岡アジア文化賞」 受賞。 2012年には「第24回高松宮殿下記念世界文化賞」を受賞す るほか、国際文化交流への優れた貢献に対して「米国国務院 芸術勲章」を授与された5名のひとりに選ばれる。現在は米国 ニューヨークで活動。

https://caiguoqiang.com/

- Heritage, 2013
   Photograph: Natasha Harth, QAGOMA
   Courtesy: Queensland Art Gallery |
   Gallery of Modern Art
- Color Gunpowder Drawing for City of Flowers in the Sky: Daytime Explosion Event for Florence, 2018 Photo by Wen-You Cai, courtesy Cai Studio
- 3. Footprints of History: Fireworks Project for the Opening Ceremony of the 2008 Beijing Olympic Games, 2008 Photo by Hiro Ihara, courtesy Cai Studio



#### 講演内容

# 私の美術館春秋 ーミュージアムあれこれ考

基調講演では、過去数十年にわたって世界中で行った一連のプロジェクトを通じて、私がミュージアムとどのように関わってきたかについてお話ししたいと思います。例えば、現在メルボルンのビクトリア美術館にて開催中の「兵馬俑と蔡國強展 (Terracotta Warriors & Cai Guo-Qiang)」のこと、「なんでも美術館 (Everything is Museum)」と名付けた一連のプロジェクトとして、建設が困難な地域、福島県いわき市の住民と行ったプロジェクトの経験、また、西洋美術の主要機関といえるモスクワのプーシキン美術館、マドリードのプラド美術館、フィレンツェのウフィツィ美術館、マドリードのプラド美術館、フィレンツェのウフィツィ美術館、ナポリの国立考古学博物館での個展について、そしてニューヨークのグッゲンハイム美術館で企画した展覧会「Non-brand 非品牌」のことなど、世界各地のミュージアムで行ってきた数々の展覧会の経験を通じて、ミュージアムの役割について巡らした私の考察をお話ししようと思います。

伝統的なミュージアムが、どのように今日の芸術にインスピレーションを与え、そしてキュレーターが「シャーマン」の如くいかにして芸術家と芸術史を結びつけるのか?ミュージアムの建設が世界規模で流行し、現代美術が洗練され、エリート主義になっている時代において、ミュージアムが外国人客のための文化観光ブランドだけでなく、地域社会において、どのような役割を果たしているでしょうか?





19



# 9. **2**(月)

# 博物館による持続可能な未来の共創

本セッションは、持続可能な発展が地域や国、そしてグローバルに至るあらゆるレベルの様々な側面に左右されることを踏まえ、未曽有の課題に直面する社会を支えていくために博物館が取るべき様々な革新的戦略について検討します。持続可能な未来を育むため、博物館が伝統と革新、そして地域の中心にあることで、これまでに成し遂げたよりもさらに多くのことが実現できるようになります。全ての博物館には役割があり、共に力を合わせることで、その効果やメリットを最大化することができます。本パネルセッションは、参加者の皆さまが、このような未来に向けた変革の方向性を共有するにあたり、持続可能な未来を形づくるために何ができるのかを考えていただく契機となります。



モデレーター

Morien REES バランジャー博物館 開発顧問 ICOM持続可能性ワーキンググループ (WGS) 委員長

ノルウェー・バランジャー博物館の博物館開発顧問。ウェールズ大学(建築学) およびオスロ大学(美術史) 卒業。1994年、建築士から博物館の勤務に転身し、現在はノルウェー北極圏にあるバランジャー博物館に勤務。ICOM持続可能性ワーキンググループ委員長。



スピーカー

Bonita Alison BENNETT ディストリクト・シックス博物館 館長

2008年にディストリクト・シックス博物館の館長に就任。ケープタウン大学卒業の教員資格保持者である彼女は、アパルトへイト下のケープ州西部における土地の強制収容・強制退去に関する修士論文を書いた、反アパルトへイト運動家でもある。現在は、プレトリア大学で博士号課程に在籍。両親は共にディストリクト・シックス出身で、強制退去後、ケープフラット内の有色人種居住区で育った。ディストリクト・シックス博物館では、アパルトへイト人種隔離政策に基づく強制収容・強制退去の歴史を目の当たりにすることで、人権剥奪に対する理解を深めることができる。



スピーカー

Yacy-Ara FRONER ミナス・ジェライス連邦大学 美術学部教授 ICOM持続可能性ワーキンググループ (WGS) 委員

歴史学学士(オウロ・ブレット連邦大学、1988年)、社会史修士(サンパウロ大学、1994年)、経済史博士(サンパウロ大学、2001年)を持つYacy-Ara Froner は、保全及び復元センター(CECOR)(1992年)やゲティ保全研究所(GCI)(1995年)で文化遺産の復元・保全に従事した経験のある文化遺産分野の専門家。現在はミナス・ジェライス連邦大学・美術学部の教授として、視覚芸術/保全・復元に関する学部課程や芸術分野の修士・博士課程の講義を担当。また、ミナス・ジェライス連邦大学・大学院建築研究科の、構築環境・遺産保全に関する修士・博士課程の調整業務も担当。



スピーカー

Cecilia LAM 競馬会気候変動博物館 館長、香港中文大学 事務局長

香港中文大学・競馬会気候変動博物館創設館長、香港中文大学 CPSF (Campus Planning and Sustainability Office) 事務局長を兼任。高等教育分野の戦略策定・持続可能性に関する経歴を持つ彼女は、国連 SDSN (持続可能な開発ソリューションネットワーク) 香港支部の運営責任者や 「香港持続可能なキャンパスコンソーシアム」の委員も務める。



スピーカー

Henry MCGHIE Curating Tomorrow創設者 ICOM持続可能性ワーキンググループ(WGS)委員

鳥類生態学者としての経歴を持つ熱心な自然愛好家。2000年にマ ンチェスター大学博物館での勤務を開始し、それ以降、学芸員・学芸 部長として所蔵品の管理を担ってきた。彼が企画を指揮した環境の持 続性保護や気候変動に関するギャラリー・特別展示の中には、受賞歴 を誇るものもある。国内外の研究者、博物館、政策関係者の仲介や、 ICOMの持続可能性ワーキンググループの委員も務める。自然保全、 気候変動対策、持続可能な開発目標 (SDGs) により貢献できる博物館



スピーカー

毛利 衛 日本科学未来館 館長

日本人として初めてスペースシャトルに搭乗した宇宙飛行士・毛利

衛博士は、日本科学未来館の初代館長として、研究者と社会との橋渡

し役を果たしてきた。博士独自の科学コミュニケーション活動は、字

宙授業TV生中継や、史上初の南極からの皆既日食中継など、科学の

表舞台でのクール・ジャパンを演出してきた。深度6500メートルまで

潜航した経験も持つ毛利博士は、常に未知の世界に挑み続ける不屈

の精神の持ち主である。2017年には、世界科学館サミットを議長とし

て主催。国連SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた活動方針・行動

指針を「東京プロトコル」としてまとめた。

のあり方や、人と自然が共栄できる社会の実現に向けた有効な協力体 制の整備にとくに関心を寄せている。



スピーカー

Sarah SUTTON Sustainable Museums 代表/ We Are Still In 実行委員会 委員

LEED 認定プロフェッショナルの資格を持つ Sarah Suttonは、文化 団体のスタッフや管理職による持続可能なソリューションや気候変動 対策の策定を、コンサルタントとしてサポートしている。We Are Still Inの実行委員会委員および文化機関担当主任として、アメリカ国内の 文化機関によるパリ協定の支援を促している。環境と気候に関する米国 州歴史協会 (AASLH) タスクフォース共同議長、全米博物館協会 (AAM) 環境・気候ネットワーク役員。著書に「The Green Museum(グリーン 博物館)」(共著)、「Environmental Sustainability at Historic Sites and Museums(史跡と博物館の環境持続可能性)」があり、2019年 ザルツブル グ・グローバルフェローも務める。

# 9.3<sub>w</sub>

# ICOM博物館定義の再考

近年、博物館の目的、方針、活動は、時代に合わせて変化し再編されてきました。そのため、ICOMの博物館定義ではもはや、博物館の抱える課題や多様なビジョン、責任を十分伝えることができなくなっています。本セッションでは、博物館定義が変わる必要性や、新たな定義に向けた可能性を、有識者を交えて議論します。



モデレーター・スピーカー

Jette SANDAHL 博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員長

ゲティ博物館経営研究所で博物館経営を学んだJette Sandahlは、ユニークな展示コンセプトで知られるスウェーデン世界文化博物館やデンマーク女性博物館の創設者兼館長、デンマーク国立博物館の展示・教育プログラム部長、ニュージーランド国立博物館テ・パパ・トンガレワのエクスペリエンス部長、コペンハーゲン博物館館長など、国内外の博物館で数多くの要職を歴任。現在は、欧州博物館フォーラム(European Museum Forum)や、博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)の委員長を務める。また、心理学の専門家として、人権、文化的共存、社会的公正を促す新たな社会規範や体制の整備に役立つ博物館の運営を目指し続ける彼女は、博物館学分野で幅広い出版活動にも従事する。



スピーカー

George Okello ABUNGU Okello Abungu世界遺産コンサルタント CEO

ケニア国立博物館元館長の経歴を持つケンブリッジ大学で研修を受けた考古学者。Okello Abungu世界遺産コンサルタントのCEOを務める彼は、芸術に対する犯罪研究協会(ARCA)から芸術保護者としての生涯称号を授与。また、国内および世界各地の世界遺産への傑出した貢献や、アフリカ世界遺産分野での人材育成への貢献を通し世界遺産基金賞をアフリカ出身者として初めて受賞した功績に対し、フランス政府から文学芸術騎士勲章を授与された経歴を持つ。考古学をはじめ、世界遺産管理・博物館学・文化・開発分野の研究・出版実績のほか、ICOM副会長、UNESCO世界遺産委員会のケニア代表委員および副委員長の歴任経験がある。現在は、モーリシャス大学・世界遺産管理修士課程の創設准教授、南アフリカ・ステレンボッシュ大学ステレンボッシュ高等研究所の特別研究員も務める。



スピーカー

Margaret ANDERSON メルボルン旧財務省ビル博物館 館長

現在メルボルンの旧財務省ビル博物館の館長を務める政府所属の上級歴史学者・博物館従事者。これまで長年にわたり、西オーストラリア・南オーストラリア両州で複数の博物館の要職を歴任し、1980年代には、移民博物館の創設者兼館長を務めた経歴を持つ。博物館と地域社会との連携に関するオーストラリア国内の議論を先導する、本分野の第一人者でもある。女性史や物質史を主な研究テーマとするフェミニスト歴史学者である彼女は、歴史観の格差や「扱いにくい歴史」に関する博物館の展示能力に関する議論にとくに関心がある。博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)では、文化民主主義や参加型アプローチに関する分科会の委員長を務めている。



スピーカー

Lauran BONILLA-MERCHAV コスタリカ大学 教授 ICOMコスタリカ委員長

ニューヨーク市立大学大学院で美術史の博士号を取得。現在、ICOMコスタリカ委員長として2期目を務めながら、ICOMラテンアメリカ・カリブ地域(LAC)の財務担当を兼任。また、ICOMの博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)の委員、地域社会型博物館に関する研究や地域間交流・学習の振興に取り組むEU拠出事業「EU=ラテンアメリカ・カリブ博物館プロジェクト(EU-LAC Museums project)」の運営委員会のメンバーも務める。さらに、コスタリカ大学で、美術史や博物館学に関する講義も担当している。



スピーカー

Shose KESSI ケープタウン大学 心理学部准教授

ケープタウン大学で心理学部の准教授と人文科学部の副部長を兼任。また、脱植民地フェミニスト・サイコロジー・センター(Hub for Decolonial Feminist Psychologies)の共同所長も務める。政治心理学、組織・制度変革、人種・階級・性別などのアイデンティティに関する問題、およびこれらが変革への積極的な参加にもたらす影響を主な研究テーマとする彼女は、フォトボイス(Photovoice)と呼ばれる参加型行動研究ツールの開発を通し、社会レベルの行動を起こせる意識改革や市民動員を目指す。



スピーカー

Nirmal KISHNANI シンガポール国立大学 設計・環境学部

シンガポール国立大学の准教授として、建築学科で持続可能なデザインについて教鞭を取る一方で、持続可能な建築について同大学にてプログラム開発に従事。2002年より、デザイン設計を実践に結び付ける政策やプロジェクトのコンサルティングを通じてアジアに関する議論に参画。2008年からは、建築雑誌『FuturArc』編集長のほか、創設に関わったアジアを拠点とする2つのデザインコンペティションの常任審査員を務める。



スピーカー

W. Richard WEST Jr. アメリカンウエスト・オートリー博物館 館長兼CEO ICOMアメリカ役員

ロサンゼルスにあるアメリカンウエスト・オートリー博物館の館長兼CEO、ならびにスミソニアン協会が運営する国立アメリカン・インディアン博物館の創設者兼名誉館長を務める。オクラホマ州のシャイアン族およびアラパホー族の市民として、南シャイアン首長平和協会にも所属。ICOMアメリカおよびICSC (International Coalition of Sites of Conscience: 良心のサイトの国際連合)の現理事を務め、過去にはフォード財団、スタンフォード大学、カイザーファミリー財団の理事を歴任。全米博物館協会元理事長(1998~2000年)。ICOM元副会長(2007~2010年)。

# 9.4 (7k)

# 被災時の博物館

#### 一文化遺産の保存に向けた備えと効果的な対応

大規模災害発生時、博物館には効率的・意識的かつ迅速に行動することが求められます。 また人命と文化遺産を守るためには、対応策の分析と備えが不可欠です。 本セッションでは各地で起こる災害にミュージアムはいかに対応すべきか、 災害リスクの回避や、発生後の適切な対処について、日本をはじめ世界の事例をもとに議論します。



モデレーター

Corine WEGENER スミソニアン文化財レスキューイニシアティブ ICOM災害リスク管理委員会 (DRMC) 委員長

アメリカ国内外の被災地・戦闘地などの文化遺産の保護に取り組むスミソニアン文化財レスキューイニシアティブ (SCRI) の統括責任者。SCRIは、シリア、イラク、ハイチ、ネパールなど世界各地でプロジェクトを展開する支援事業で、アメリカの国家災害復興フレームワークの一部である文化遺産危機対応国家タスクフォース・FEMA 環境歴史保護局の共同局長も務める。自然災害や武力紛争からの文化資産の保護に関する講義・出版が専門。ネブラスカ大学オマハ校(政治学学士)、カンザス大学(政治学・美術史修士)卒業。



スピーカー

小野 裕一 東北大学 教授

アメリカオハイオ州立ケント大大学院地理学博士課程(気候学、風害)を2002年から2003年にかけて修了。世界気象機関(WMO)に勤務し、防災プログラムの策定に貢献。2003年から2009年には、国連国際防災戦略で、早期警報システムの開発や、ISDR科学技術委員会の運営補佐を担当。アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP) 防災委員会チーフとして、発展途上国、社会的弱者に配慮した防災協力・防災政策策定の地域レベルの枠組みを整備した。現在は、東北大学 災害科学国際研究所(IRIDeS)の教授兼所長補佐、京都大学防災研究所 大気・水研究グループ客員教授、東北大学IRIDeS災害統計グローバルセンター(GCDS)所長を務める。2019年11月9日から12日にかけて仙台で開催される第2回世界防災フォーラムを主催する世界防災フォーラム事務局の設立者であり代表理事でもある。



スピーカー

Alejandra PEÑA GUTIÉRREZ プエルトリコポンセ美術館 館長

メキシコ国立自治大学で美術史の修士を取得した建築士資格者。1992年、サンカルロス国立博物館の展示企画部長として博物館分野の経歴をスタート。その後、現代美術館館長、ベジャス・アルデス宮殿博物館の副館長および館長を歴任。2001年、メキシコ国立芸術院(INBA)副所長に就任。INBA所長補佐、外務省教育・文化協力総局の文化振興部長を歴任後、2009~2012年まではINBA芸術遺産担当副部長を務め、2013年以降はポンセ美術館の常任館長を務める。美術館館長協会会員(2014~)。ICOMアメリカ役員(2018~)。



スピーカー

Aparna TANDON 文化財保存修復研究国際センター(ICCROM)

文化遺産の危機対応・防災管理の専門家。文化遺産保全分野での25年の専門職経験に加え、アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ、南米での文化遺産保全研修経験を持つ。現在は、ICCROMのプロジェクトマネージャーとして、文化遺産救急措置・復元(FAR: First Aid and Resilience of Cultural Heritage)分野のグローバル人材能力開発制度の調整を担う。また、視聴覚危機遺産の保護を目的とするSOIMA (Sound and Image Collections Conservation)プログラムの指揮も担っている。過去には、ICCROMの連携型研修事業「統合型危機管理に向けたチームワーク」の企画・実施にも貢献。



スピーカー

Renata VIEIRA DA MOTTA ICOMブラジル委員長

博物館学研究者(博士号)。とくに、公共政策の文化的側面や、美術館の経営が専門分野。ブラジル国内の様々な文化・芸術機関の研究者職を経験後、セルジオ・モッタ研究所(ISM)所長、サンパウロ省博物館局(SISEM-SP)局長、サンパウロ省文化局博物館遺産保存部(UPPM)部長を歴任。2017年以降は、サンパウロ大学(USP)で博物館・収蔵物分野の顧問を担当。学長室を拠点に、USPに付属する5つの博物館の支援業務に従事。パウリスカ博物館内の歴史的建造物の全面改築に取り組む作業部会「パウリスカ博物館2022」のメンバー。ICOMブラジルの委員長として、2018~2021年までの任期を務める。

#### 9.4 (\*\*)

# 世界のアジア美術とミュージアム

アジア諸国のICOM会員が増える中、ICOM京都大会はアジア美術と博物館の意義を考える理想的な場です。本セッションでは、アジア美術を扱う博物館とその美術品がどのようにその土地や外国からの鑑賞者との結びつきを深めるか、また世界中の博物館が連動することにより、どのようなメリットを享受できるかを検討します。また、近年世界中の博物館でアジア美術への理解を深めようとする動きが進められていることから、アジア美術に関する事例を取り上げ、こうした動きについて考察します。



モデレーター

Yukio LIPPIT ハーバード大学 教授

ハーバード大学美術史・建築学科の教授、ラドクリフ高等研究所の 元所長。日本画が専門分野で、ワシントンD.C.のナショナル・ギャラ リー・オブ・アート、フリーア美術館、ニューヨークのジャパン・ソサ エティーでの展示企画実績を持つ。



スピーカー

河合 正朝 千葉市美術館 館長

1941年東京都生まれ。1971年に慶応義塾大学大学院博士課程を 修了。1969年に慶応義塾大学文学助手、1988年同大学文学部教授を 経て、2007年には慶応義塾大学名誉教授となる。2012年からは千葉 市美術館館長を務める。



スピーカー

Min-Jung KIM 応用美術科学博物館 学芸員

オーストラリア・シドニーの応用美術科学博物館(MAAS、別称:パワーハウス博物館)のアジア美術担当学芸員。韓国生まれ、オーストラリア育ち。シドニー大学で学芸員・美術館学の修士を取得後、12年前にMAASで働き始めた。韓国の織物、陶器、金属製品のほか、日本のファッション、中国製ベルトバックル、学芸員学など、幅広い分野で出版・講義活動を行っている。「Rapt in colour」(1998年)、「Earth, Spirit and Fire」(2000年)、「Sprit of Jang-in」(2010年)「Japanese folds」(2015年)、「Reflections of Asia」(2018年)などの展示企画実績がある。



スピーカー

Christoph LIND ライス・エンゲルホルン博物館 ICOM ICFA 委員長

美術史・中国学・日本学修士。美術史博士。ベルリン・ドイツ歴史博物館館長。ICOMドイツ委員長 (2003年)。ドイツ・マンハイムのライス・エンゲルホルン博物館展示部長。ドイツ・マンハイムのライス・エンゲルホルン博物館美術・文化史部長 (2015年~)。展示プロジェクト実績 (抜粋):「ドイツ植民地史展」(中国・青島)、「1701年初代プロイセン国王戴冠式」、「Lu Chuntao。絵画、中国建築100点」、「バロック、ベル・エポック美術、選帝侯の美術」。



スピーカー

Anne Nishimura MORSE ボストン美術館 日本美術シニア・キュレーター

ボストン美術館のウィリアム・アンド・ヘレン・パウンズ・シニア・キュレーター (日本美術)。日本美術課長として、最近では「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3-11 (地震、その後:日本人写真家が撮るボスト3.11)」(2015年)、「Takashi Murakami: Lineage of Eccentrics (村上隆: 奇想の系譜)」(2015年) などの企画を担当。日本国内では、「ボストン美術館 日本美術の至宝」(東京国立博物館、2012年) や、「ボストン美術館×東京藝術大学 ダブル・インパクト 明治ニッポンの美」(東京藝術大学、2015年)を企画。日米文化教育交流会議 (CULCON) 美術対話委員会の共同委員長も務める。



プログラム詳細

#### 国際委員会

**ICEE** 

AVICOM オーディオビジュアル及び

ソーシャルメディア新技術国際委員会

CAMOC 都市博物館のコレクション・活動国際委員会

CECA 教育·文化活動国際委員会

CIDOC ドキュメンテーション国際委員会

CIMCIM 楽器の博物館・コレクション国際委員会

CIMUSET 科学技術の博物館・コレクション国際委員会

CIPEG エジプト学国際委員会

COMCOLコレクション活動に関する国際委員会COSTUME衣装の博物館・コレクション国際委員会

**DEMHIST** 歴史的建築物の博物館国際委員会

GLASS ガラスの博物館・コレクション国際委員会

ICAMT建築・博物館技術国際委員会ICDAD装飾美術・デザインの博物館・

コレクション国際委員会 展示・交流国際委員会

ICFA 美術の博物館・コレクション国際委員会

ICLCM 文学と作曲家の博物館国際委員会

ICMAH 考古学・歴史の博物館・

コレクション国際委員会

ICME 民族学の博物館・コレクション国際委員会

ICMEMO 公共に対する犯罪犠牲者追悼のための

記念博物館国際委員会

ICMS 博物館セキュリティ国際委員会

ICOFOM 博物館学国際委員会 ICOM-CC 保存国際委員会

ICOMAM 武器·軍事史博物館国際委員会

 ICOMON
 貨幣博物館国際委員会

 ICR
 地方博物館国際委員会

 ICTOP
 人材育成国際委員会

INTERCOM マネージメント国際委員会

MPR マーケティング・交流国際委員会

 NATHIST
 自然史の博物館・コレクション国際委員会

 UMAC
 大学博物館・コレクション国際委員会

#### 地域連盟

ICOM ARAB アラブ地域

ICOM ASPAC アジア太平洋地域 ICOM EUROPE ヨーロッパ地域

ICOM LAC ラテンアメリカ及びカリブ海地域

ICOM SEE東南ヨーロッパ地域CIMAO西アフリカ地域

#### 加盟機関

 AEOM
 ヨーロッパ野外博物館会議

 AFRICOM
 国際アフリカ博物館会議

 AIMA
 国際農業博物館協会

 AMMM
 地中海海洋博物館協会

 CAM
 博物館英連邦協会

 CIMAM
 国際美術館会議

EXARC 国際考古学野外博物館・実験考古学組織

FIHRM 国際人権博物館連盟 HANDS ON! 国際こども博物館協会

IACCCA 国際現代美術に関する企業コレクション協会

IACM 国際税関·税博物館協会 IAMFA 国際博物館施設管理者協会

IAMH 国際歴史博物館協会

 IATM
 国際交通・通信博物館協会

 ICAM
 国際建築博物館連合

 ICMM
 国際海事博物館会議

 ICSC
 良心のサイトの国際連合

 MAC
 カリブ海博物館協会

 MINOM
 国際新博物館学運動

PIMA太平洋諸島博物館協会SIBMAS国際演劇図書館博物館連盟

#### 特別委員会

MDPP 博物館の定義・展望・可能性委員会

DRMC 災害リスク管理委員会

 ETHCOM
 倫理委員会

 FIREC
 財務·資産委員会

 LEAC
 法務委員会

 NEC
 推薦・選挙委員会

 SAREC
 戦略的配分評価委員会

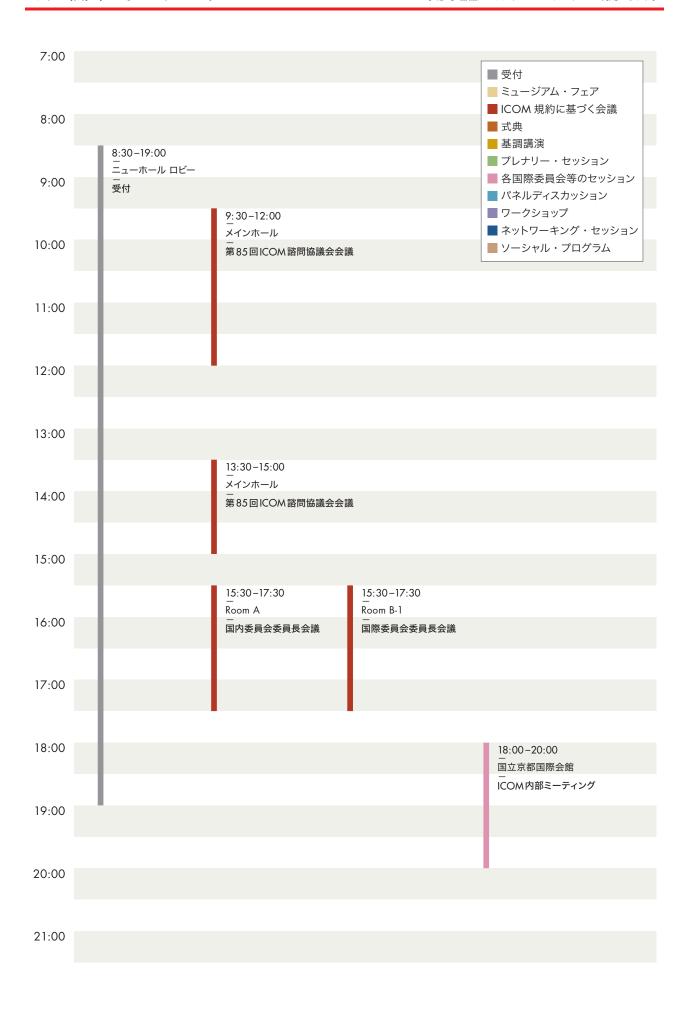
 SPC
 戦略的計画委員会

#### ワーキンググループ

MWG メンバーシップワーキンググループ WGS 持続可能性ワーキンググループ

ICWG 国際委員会将来構想ワーキンググループ

<sup>\*</sup>アネックスホールにて国際委員会の活動を紹介するポスター展示を9月2日~4日に行っております。ぜひ足を運んでください。



#### ICOM規約に基づく会議

奇 英·仏·西·日

9:30-12:00 13:30-15:00

【会場 メインホール(1階)

#### 第85回 ICOM 諮問協議会会議

諮問協議会を構成する各国内・国際委員会委員長、地域連盟、加盟 組織の役員が集い、ICOMの方針、プログラム、手続き、財務につい て協議します。

#### ICOM規約に基づく会議

6 ○ 英・仏・西・日

15:30-17:30

会場 Room A(2階)

#### 国内委員会委員長会議

各ICOM国内委員会委員長が一堂に会して委員会の関連事項を協議します。

#### ICOM規約に基づく会議

**☆** 英·仏·西·日

15:30-17:30

【会場 Room B-1 (2階)

#### 国際委員会委員長会議

各ICOM国際委員会委員長が一堂に会して委員会の関連事項を協議します。



# 9.2(月) プログラム・ハイライト

式典

⑥ 英·仏·西·日

9:30-10:55

【会場 メインホール (1階)

(中継: さくら/Room A/Room E)

開会式

基調講演

€ 英・仏・西・日

10:55-11:25

■会場 メインホール(1階)

(中継:さくら/Room A/Room E)

森の時代

詳細は14~15ページをご覧ください。

【スピーカー 隈 研吾 <sub>建築家</sub>

プレナリー・セッション

⑥ 英·仏·西·日

11:45-13:15

**■会場 メインホール**(1階)

(中継:さくら/Room A/Room E)

博物館による持続可能な未来の共創

詳細は22~23ページをご覧ください。

ワークショップ

M

11:45-13:15

【会場 Room H(1階)

出版・執筆に向けて: 著作を学術専門誌に掲載して もらうために

このワークショップの目的は、博物館の専門家や研究者がどのようにすれば研究内容が採用され、学術専門誌や専門書に論文が掲載されるか学ぶことを目的とします。また、オープンアクセス方針、著作権管理、出版倫理の観点から、現在の学術出版事情を概観します。

■モデレーター Aedín Mac DEVITT

ICOM事務局

出版ドキュメンテーション課課長

■スピーカー George COOPER

テイラー・アンド・フランシス

Melanie FOEHN

ICOM事務局

編集コーディネーター

Heidi LOWTHER

テイラー・アンド・フランシス

ネットワーキング・セッション

M

13:30-14:30

【会場 Room I(2階)

ICOM新会員セッション

ICOMの新会員を対象に、ICOMの組織、ミッション、活動について説明します。

パネルディスカッション

◎ 英·仏·西·日

14:30-16:00

**■会場 メインホール**(1階)

デコロナイゼーションと返還: より全体論的な視点と 関係性アプローチへの移行1

返還の問題も含め、脱植民地化についての全体論的視点を養うことを目指します。本セッションでは、こうした問題に対するこれまでの見方や考え方を振り返り、従来のものとは異なる視点を新たに探るとともに、創造的な問題解決のための手法や、紛争解決に向けた新たなアプローチを提示します。また、この2回のセッションを機に、利害を共にする共同体間の関係構築を支援し、知見の共有を進めてゆく上で、国際的ネットワークとしてのICOMが果たすべき役割について、理解を深めます。

■モデレーター Afsin ALTAYLI

ICOM事務局

博物館・社会コーディネーター

Tonya NELSON ICOM英国委員長





#### Marilia BONAS スピーカー

サンパウロ・レジスタンス記念館館長 ICOMブラジル役員

Alec COLES

西オーストラリア博物館CEO ICOMオーストラリア元委員長

Reena DEWAN

コルカタ・クリエイティビティ・センター副所長 ICOMインド委員長

William U. EILAND

ジョージア美術館館長

ICOM 英国役員

Laura PYE

リバプール国立博物館館長

ICOM 英国会員

Michèle RIVET

カナダ人権博物館副館長 ICOMカナダ役員

# ワークショップ

14:30-16:00

【会場 Room E(1階)

# 博物館による持続可能な未来の共創

ローカル/グローバルレベルでより良い社会・文化・環境の実現に 向け、博物館が何をできるかを検討するためのワークショップです。 参加者とともに、博物館関係者のための「未来を創るミュージアム」 宣言を作成します。また、各自が所属する博物館が、それぞれの特技 をいかし持続可能な発展や健全な地球環境の実現にどのように貢献 できるかを検討します。

# ■モデレーター Henry MCGHIE

Curating Tomorrow創設者

ICOM持続可能性ワーキンググループ(WGS)委員

Jenny NEWELL

オーストラリア博物館太平洋・国際コレクション部長 ICOM持続可能性ワーキンググループ(WGS)委員

### パネルディスカッション

英・仏・西・日

16:30-18:00

**■**会場 メインホール(1階)

# デコロナイゼーションと返還: より全体論的な視点と 関係性アプローチへの移行2

詳細は36ページをご覧ください。

■モデレーター Afsin ALTAYLI

ICOM事務局

博物館・社会コーディネーター

Tonya NELSON

ICOM英国委員長

Luc EEKHOUT 【スピーカー

> ヘースウェイク城館長 ICOMオランダ委員長

Christian Nana TCHUISSEU

Blackitude博物館館長 ICOMカメルーン委員長

Bertrand GUILLET

ブルターニュ公爵城ナント歴史博物館館長

ICOMフランス会員

Nehoa Hilma KAPUKA

ナミビア博物館協会プロジェクト開発マネージャー

ICOMナミビア会員

Beate REIFENSCHEID

ルードウィック博物館館長 ICOMドイツ委員長

# ソーシャル・プログラム

18:30-20:30

★会場 メインホール/スワン/庭園

# 開会パーティー

詳細は64ページをご覧ください。

# 9.2(月) 各委員会等セッション

ICOM委員会等のリストは32ページをご覧ください。

各セッションの詳細情報はICOM京都大会公式アプリをご確認ください。

### 合同セッション

# CAM, MAC, AFRICOM and PIMA

15:00-18:00 Room I(2階)

博物館の国際的なパートナーシップと コラボレーション

## CAMOC and ICOM ASPAC

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 208 (2階)

カルチャーツーリズム、都市の持続的可能性、 都市の博物館

# ICMEMO and FIHRM

14:30-18:00

Room A (2階)

博物館は深遠なものをどのように伝えるか: 大日本帝国の旧植民地からの声

# ICOM-CC, INTERCOM and ICOM SEE

14:30-18:00

稲盛記念会館 Room 104 (1階)

未来の形成、少ない労力で大きな成果を

### 国際委員会

### AVICOM

14:30-15:45

Room 509A (5階)

AVICOMの過去、現在、未来:

コミュニケーションの変化に伴う役割の変化

16:30-18:00

Room 509A (5階)

革新的メディア:ドキュメンテーション、復元、 再構築、パブリックコミュニケーション I

## CAMOC

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 208 (2階)

CAMOC総会

### CECA

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 203 (2階)

博物館、健康、福祉

(ラウンドテーブル・ディスカッション)

14:30-16:15

稲盛記念会館 Room 204 (2階)

博物館教育におけるリサーチ・クエスチョンの 多様性

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 203 (2階)

CECAポスターセッション

# **CIDOC**

Room 554A+B (5階)

文化の記録と伝承:

ドキュメンテーションと文化

16:30-18:00

Room 677 (6階)

ドキュメンテーションのための

セマンティックデータモデル

16:30-18:00 Room 678(6階)

コミュニティとの協働によるコレクションの ドキュメンテーション

### CIMCIM

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

サウンド・スペース

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

高等教育と専門家訓練

### **CIMUSET**

Room G (1階)

オープニング・基調講演

「物質文化からものづくり文化へ」

16:30-18:00 ④ 英→日

Room G (1階)

博物館の新たな概念と役割

### **CIPEG**

14:30-16:00

Room 509B (5階)

次世代のエジプト・コレクションへの布石/ エジプト・コレクションの展示

16:30-18:00

Room 509B (5階)

エジプト・コレクションの展示/

コレクションの歴史

### COMCOL

Room 501 (5階)

コンテンポラリーコレクティング:

グローバルな視点

### COSTUME

14:30-16:00

Room 663 (6階)

### COSTUME総会

16:30-18:00

Room 663 (6階)

コレクション、プロジェクト及び展示の報告

# **DEMHIST**

稲盛記念会館 Room 202 (2階)

過去の継承と未来の創造

稲盛記念会館 Room 202 (2階)

ライトニングトーク:地域社会と博物館

# **GLASS**

14:30-15:45

稲盛記念会館 Room 101 (1階)

文化をつなぐガラスの美術館・博物館

16:00-18:00

稲盛記念会館 Room 101 (1階)

ガラス造形の現在

## **ICAMT**

14:30-16:00

Room B-1 (2階)

会議の開会とプレゼンテーション

16:30-18:00

Room B-1 (2階)

博物館建設プロジェクト:

リノベーション、展示、持続可能性、アイディア

# **ICDAD**

美術・工芸・デザインにおける温故知新

- 日本とアジア美術を中心に

14:30-16:00

Room 662 (6階)

装飾芸術における異文化間の影響、欧州の

インテリアにおけるジャポニズムとシノワズリー

16:30-18:00 Room 662 (6階) 温故知新、ICDAD総会

### **ICEE**

巡回企画展の開発・運営における、社会的要請や展示技術の変化に対する対応力の構築、及び、 昨今のオーディエンスを見据えた協力関係の 構築やつながりの強化 I

### **ICFA**

14:30-18:00

稲盛記念会館 Room 207 (2階)

美術館における異文化: 西洋とアジア I

### ICLCM

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

文学博物館及び作曲家博物館の持続可能な 文化活動

### **ICMAH**

考古学、コレクション、研究

### **ICME**

14:30-16:00 Room K(2階)

博物館の脱植民地化

- 市民意識と社会的結束を高めるために

16:30-18:00 Room K (2階)

ICME総会

### **ICMS**

セキュリティ、国際的課題、博物館

### **ICOFOM**

14:30-16:00 Room D(1階)

博物館学における過去と未来

16:30-18:00

Room 679·680·681 (6階)

博物館学における過去と未来

### **ICOMAM**

14:30-16:00 Room 555A(5階)

ICOMAM総会

16:30-18:00

Room 555A (5階)

真正性と文化的差異:「概念」対「実物」I

# **ICR**

14:30-18:00 Room 103 (1階)

文化・自然遺産の持続可能な利用を促進する 地域博物館 I

### **ICTOP**

14:30-18:00

Room F (1階)

博物館人材育成の要:

50年を振り返り、50年先を見据えてI

# MPR

変化する社会における変革するミュージアム コミュニケーション

グローバルな問題への対応

### **NATHIST**

自然史博物館:自然と文化の間の連結 I

# **UMAC**

オープニングセション

「大学内にある博物館」か「大学博物館」か

16:30-17:30 ④ 英→日 Room 510 (5階) 大学博物館の未来

#### 地域連盟

# **ICOM ARAB**

14:30-18:00 稲盛記念会館 Room 105 (1階) アラブ地域ICOM メンバー会合

### ICOM ASPAC

16:30-18:00 稲盛記念会館 Room 204 (2階) ICOM ASPAC 総会

### 国内委員会

# ICOM イタリア

14:30-18:00 稲盛記念会館 Room 106 (1階) アクセシビリティ、インクルージョン、 ユーザビリティについて:新たな国際委員会の 創設に向けて

# ICOM アメリカ

16:30-18:00 Room 554A+B(5階)

愚者の一念:ブッシュ、オバマ、トランプ政権 時代をまたいで国立アフリカンアメリカン歴史 文化博物館が開設されるまでの軌跡

# 9.2(月) 各委員会等セッション

# スポンサーセッション

# ミュージアム・フェア

14:00-14:20 イベントステージ (イベントホール) ミュージアム・フェア開会式

# 読売新聞社、京都国立博物館、文化庁

14:30-15:20 イベントステージ (イベントホール) 美を守り、美を伝える 一京都国立博物館長、文化庁長官、読売新聞社 トップが語り合う美術の未来—

# SoundUD推進コンソーシアム

15:25-16:15 イベントステージ (イベントホール) ICOM京都大会 2019 の全会場でも使える 多言語同時通訳システム 言語や聴力の不安のない社会を目指す "SoundUD"とは?

# THK株式会社

16:45-17:35 イベントステージ(イベントホール) 文化財を地震から守る THK 免震



基調講演

9:00-10:00

■会場 メインホール(1階)

(中継:さくら)

⑥ 英・仏・西・日

12:30-13:30

います。

ワークショップ

**■**会場 Room 665(6階)

# アマゾン熱帯雨林保護 - ブラジリアン イニシアティブ --

詳細は16~17ページをご覧ください。

【スピーカー Sebastião SALGADO 写真家

■スピーカー Sonia AGUDO

ICOM事務局 ITシステムマネジャー

ICOM委員会管理者のための

国内委員会事務局の日々の管理業務を支援するためのICOMデー

タベース(IRIS)の機能について解説し、実際の事例について検討を行

会員データベースの活用

Benjamin GRANJON

ICOM事務局 メンバーシップ課課長

プレナリー・セッション

◎ 英·仏·西·日

10:30-12:00

# ICOM博物館定義の再考

詳細は24~25ページをご覧ください。

#### ワークショップ

M

10:30-12:00

【会場 Room D(1階)

# スマートなデジタルコミュニケーションの ために:コミュニケーションデザインと パートナーシップの構築・運用

このワークショップでは、効果的なデジタル戦略を策定・運用し、パートナーとの協力体制を構築するための基本要件とツールを提供します。とりわけ、最も高い効果を出しつつ、いかに業務の効率化を図るかという、スマートなコミュニケーションに焦点をあてます。

# ■スピーカー Laetitia CONORT

ICOM事務局

デジタルコミュニケーション担当

Alexandra FERNÁNDEZ COEGO

ICOM事務局

コミュニケーションコーディネーター

Francesca POLLICINI

ICOM事務局 イベントマネジャー

# ネットワーキング・セッション

M

M

12:30-13:30

【会場 Room A(2階)

# プロの経験から学ぼう! ICOM メンタリング・セッション

本セッションでは、各国の若手博物館関係者が経験豊かなメンター と共に、以下の5つの議題について話し合います。

- 1. 保存
- 2. 教育
- 3. マネージメント
- 4. コミュニケーション&マーケティング
- 5. キュレーターシップ

ICOM会員から選ばれるメンターが、それぞれの専門職としてのキャリアやこれまでの試練やチャンスについて経験者の視点から解説します。また、現在の問題点・疑問点について率直に議論するための、グループ別ディスカッションも行われます。

# 委員会セッション

● 英・仏・西・日

13:30-14:30

**■**会場 Room C-2(1階)

# ICOMメモリアル・レクチャー スティーブン E. ワイル

博物館や博物館専門職の発展に寄与した人物として知られる博物 館学の第一人者で著者のスティーブン・E・ワイル博士の業績を記念 するレクチャーです。2006年以降、毎年、現代社会における博物館の 役割に関する論文の執筆を博物館・文化分野の著名人に依頼し、博物 館および博物館専門職の新たな役割について検討してきました。本年 度レクチャーの企画は、ICOM、ICOMアメリカ、ICOMマネージメ ント国際委員会 (INTERCOM) が担当します。

#### Lucía GONZÁLEZ DUQUE スピーカー

コロンビア真実の解明・共存・再発防止のための委員会

### ワークショップ

14:30-16:00

16:30-18:00

【会場 さくら(1階)

# 博物館定義の再考ラウンドテーブル1、2

博物館の定義・展望・可能性委員会 (MDPP) の司会で、現代社会が 抱える課題を反映した新たな博物館定義の必要性を話し合い、とりわ け新たな定義がどのように博物館の役割を強化し、支え、指針となっ ていくのかを考えます。

### ■モデレーター Afsin ALTAYLI

ICOM事務局

博物館・社会コーディネーター

# George Okello ABUNGU

Okello Abungu世界遺産コンサルタントCEO ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

### Margaret ANDERSON

メルボルン旧財務省ビル博物館館長

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

### Lauran BONILLA-MERCHAV

コスタリカ大学教授

ICOMコスタリカ委員長及び

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

#### David FLEMING

リバプール・ホープ大学公共史学科教授

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

### Alberto GARLANDINI

ICOM副会長

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

### Kenson KWOK

プラナカン博物館・アジア文明博物館創設者兼館長 ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

#### Jette SANDAHL

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員長

### W. Richard WEST Jr.

アメリカンウェスト・オートリー博物館館長

ICOMアメリカ役員及び

ICOM博物館の定義・展望・可能性委員会(MDPP)委員

# ICOM規約に基づく会議

€ 英・仏・西・日

9.3 〈火〉プログラム詳細

14:30-16:00

【会場 メインホール (1階)

# 大会決議オープン・フォーラム

ICOM会員が一堂に会し、世界中の博物館が直面する課題に対す る意見を集約した決議案を議論します。その決議案は9月7日の ICOM総会で投票、採択可否が議決されます。ICOM会員の発言が 優先されますが、どなたでも参加できます。

### ソーシャル・プログラム

19:00-21:00

■会場 二条城

# ソーシャルイベント 二条城

詳細は64ページをご覧ください。

19:00-21:00

■会場 金剛能楽堂

# 能・狂言

狂言 「棒縛」

能「羽衣 盤渉」

※事前申込制、英語解説付

詳細は65ページをご覧ください。

# 9.3(火) 各委員会等セッション

ICOM委員会等のリストは32ページをご覧ください。

各セッションの詳細情報はICOM京都大会公式アプリをご確認ください。

### 合同セッション

# CAMOC and DEMHIST

Room F (1階)

都市とハウスミュージアム:

博物館の定義の見直し

# CECA and ICOFOM

13:30-15:00

Room E (1階)

「Cultural Action」とは何か?

# CIPEG and COMCOL

13:30-18:00

稲盛記念会館 Room 204 (2階)

コレクション活動の拠点としての博物館:

伝統文化を収集することの未来

# ICAMT, ICOM-CC and ICMS

13:30-18:00

Room D (1階)

コレクションの保管 - 未来に向けた準備

# ICOM EUROPE and ICOM LAC

14:30-18:00

Room J (2階)

博物館、コミュニティ、持続可能性

# ICOM 日本 and 国立民族学博物館

▲ JSL、ASL(手話通訳:日本手話、アメリカ手話)

Room B-1 (2階)

博物館とコミュニティ開発

# ICTOP and UMAC

14:00-15:00

Room C-1 (1階)

高等教育における博物館業務の専門化:

グローバルなアプローチ

# INTERCOM and ICOM SEE

13:30-16:00

Room K (2階)

持続可能な博物館マネジメント

16:30-18:00

Room K (2階)

人権と環境のマネジメント

#### 国際委員会

### **AVICOM**

13:30-16:00

稲盛記念会館 Room 201 (2階)

革新的メディア:ドキュメンテーション、復元、 再構築、パブリックコミュニケーション II

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 201 (2階)

データベースの持続可能性

### CECA

15:10-16:15

Room E (1階)

Colette Dufresne-Tassé氏リサーチ・アワード プレゼンテーション

16:30-17:10

Room E (1階)

CECAベスト・プラクティス・アワード プレゼンテーション

17:10-18:00

Room E (1階)

CECA総会

### CIDOC

13:30-16:00

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

ドキュメンテーションの文化

13:30-16:00

稲盛記念会館 Room 207 (2階)

文化のドキュメンテーション

13:30-16:30

稲盛記念会館 Room 207 (2階)

ポスターセッション

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

CIDOC総会

### CIMCIM

13:30-15:00

Room 501 (5階)

CIMCIM総会

15:00-16:00

Room 501 (5階)

古くからの伝統

16:30-18:00

Room 501 (5階)

博物館とコミュニティを作ること・維持すること

### CIMUSET

Room B-2 (2階)

魅惑的な科学博物館をめざして

Room B-2 (2階)

科学技術遺産と持続可能性

Room B-2 (2階)

エコロジーと自然科学の科学コミュニケーション

### COSTUME

京都国立近代美術館

西洋の東洋へのまなざし

京都国立近代美術館

伝統衣装、現代の衣装、舞台衣装

### **DEMHIST**

16:30-18:00

Room 678 (6階)

DEMHIST総会

### **GLASS**

12:00-18:00 MIHO MUSEUM

ミホ・ミュージアム見学ツアー

### **ICDAD**

13:30-16:00

稲盛記念会館 Room 202 (2階)

全世界における東アジアの陶磁器、日本の茶陶の 伝統と革新、アジア美術紹介のための革新的方法

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 202 (2階)

ジャポニズム、織物・デザインにおける

伝統と革新

### **ICEE**

13:30-18:00

稲盛記念会館 Room 103 (1階)

ICEEビジネスミーティングと

展示・アイディアの見本市

### **ICFA**

Room 555A (5階)

美術館における異文化:西洋とアジア II

16:30-18:00 ④ 英→日

Room 555A (5階)

ICFA 総会

# **ICLCM**

13:30-18:00

Room 663 (6階)

文学博物館及び作曲家博物館に対する

新たな見方

### **ICMAH**

13:30-15:50

Room 509B (5階)

展示のあり方

16:30-18:00

Room 509B (5階)

介在のあり方I

### **ICME**

13:30-15:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

先住民遺産の保護とモノとのコミュニケーション

15:00-16:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

デザインと学習のための対話

16:30-17:30

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

記憶、情動、属性

17:30-18:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

文化的・社会的アイデンティティの探求

# **ICMEMO**

13:30-18:00

稲盛記念会館 Room 203 (2階)

不在の存在:記憶の空間で喪失を喚起する無

### **ICMS**

16:30-18:00

Room 675 (6階)

博物館セキュリティの定義とシステム

### **ICOFOM**

15:10-16:00

Room H (1階)

博物館学における過去と未来

16:30-18:00

Room 679·680·681 (6階)

博物館学における過去と未来

### **ICOMAM**

13:30-18:00 Room 664(6階)

真正性と文化的差異:「概念」対「実物」II

# **ICOMON**

13:30-15:00 Room G(1階)

文化の結節点としての貨幣博物館

- 未来への視点 I

15:00-16:00 Room G(1階)

古銭の拓本ワークショップ

16:30-18:00 Room G(1階)

文化の結節点としての貨幣博物館

- 未来への視点 I

# **ICR**

13:30-15:00 Room 510 (5階)

ICR総会

15:00-18:00 Room 510(5階)

文化・自然遺産の持続可能な利用を促進する

地域博物館 II

# **ICTOP**

13:30-18:00

Room 509A (5階)

博物館人材育成の要:

50年を振り返り、50年先を見据えて II

# MPR

13:30-18:00

稲盛記念会館 Room 101 (1階)

博物館におけるマーケティング・広報の

役割の再定義

### **NATHIST**

13:30-15:00

稲盛記念会館 Room 102 (1階)

NATHIST総会

15:00-18:00 ④ 英→日

稲盛記念会館 Room 102 (1階)

自然史博物館:自然と文化の間の連結 II

# **UMAC**

13:30-14:00

Room C-1 (1階)

ブラジル、リオデジャネイロ連邦大学

国立博物館の火災後の救出活動:

報告と教訓

15:00-16:00

Room C-1 (1階)

UMACポスターセッション

16:30-18:00

Room C-1 (1階)

UMAC総会

#### 地域連盟

### CIMAO

13:30-15:30 Room 677(6階)

ICOM CIMAO地域連盟会合

### 国内委員会

# ICOM フランス

14:00-16:00 Room 675(6階)

フランス語圏の博物館のグローバル・ ネットワークに向けて

## ICOM ロシア

14:00-18:00 Room 103(1階)

創造性と文化的結び付きの拠点としての博物館

### ICOM スイス

16:00-18:00 Room C-2(1階)

オリンピック博物館ネットワーク

### ICOM タイ

17:00-18:00 Room 665(6階)

ローカル化とグローバル化、タイの博物館と そのコミュニティ

### 加盟機関

### **AFRICOM**

16:30-18:00 Room 677(6階)

AFRICOM ミーティング

### **FIHRM**

13:30-18:00 Room I (2階)

中核としての博物館:アクティブコミュニティ

### **ICSC**

13:30-15:30 Room 678(6階)

記憶から行動へ:「良心の場」運動

### スポンサーセッション

# 大和ハウス工業(Daiwa Sakura Aid)

10:15-11:05 イベントステージ (イベントホール)

Daiwa Sakura Aid

~桜とともに和の精神・文化を伝える~

### 凸版印刷株式会社

13:30-14:20 イベントステージ(イベントホール) 文化財のデジタル化と活用への取組み

### 大塚国際美術館・大塚オーミ陶業株式会社

14:25-15:15 イベントステージ (イベントホール) 焼きものの複製が生み出す文化価値

### SoundUD推進コンソーシアム

15:20-16:10 イベントステージ (イベントホール)

業界の持続的な発展と未来の子供達へ向けて 学芸員×地域×来館者×SoundUDで創る ミライの音声ガイドプロジェクト ~スタートアップ館&メンバー募集~



# 9.4(水) プログラム・ハイライト

プレナリー・セッション

● 英・仏・西・日

9:00-10:15

**■会場** メインホール(1階)
(中継: さくら)

# 被災時の博物館

# 一文化遺産の保存に向けた備えと 効果的な対応

詳細は26~27ページをご覧ください。

### 基調講演

€ 英・仏・西・日

10:30-11:00

【会場 メインホール(1階) (中継: さくら)

# 私の美術館春秋

―ミュージアムあれこれ考

詳細は18~19ページをご覧ください。

▮スピーカー 蔡 國強

アーティスト

### プレナリー・セッション

● 英·仏·西·日

11:00-12:15

**★** ★インホール (1階) (中継: さくら)

# 世界のアジア美術とミュージアム

詳細は28~29ページをご覧ください。

# ワークショップ

M

12:30-13:30

■会場 Room 676 (6階)

# ICOM委員会管理者のための 会員データベースの活用

国際委員会の事務局の日々の管理業務を支援するためのICOM データベース (IRIS) の機能について解説し、実際の事例について検討 を行います。

### ■スピーカー Sonia AGUDO

ICOM事務局 ITシステムマネジャー

Benjamin GRANJON

ICOM事務局 メンバーシップ課課長

### ネットワーキング・セッション

M

12:30-13:30

【会場 Room A(2階)

# プロの経験から学ぼう! ICOMメンタリング・セッション

詳細は44ページをご覧ください。

#### パネルディスカッション

҈ 英・仏・西・日

14:30-16:00

**■会場 メインホール**(1階)

# マンガ展の可能性と不可能性: 英韓日の比較から

過去に英国、韓国、日本で開催されたマンガ展を比較しながら、「マンガ (原画) を展示する」という考え方を様々な視点から掘り下げます。マンガ展の実施について話し合うことにより、「デジタルとアナログ」、「ポップカルチャーとファインアート」、「文化と産業」という対立する概念も含め、博物館が直面する課題を浮き彫りにします。

### ▮スピーカー 伊藤 遊

京都精華大学国際マンガ研究センター/ 京都国際マンガミュージアム

南 鉦勳 (ナム・ジョンフン) 釜山ウェブトゥーンフェスティバル (釜山グローバルウェブトゥーンセンター)

# Nicole Coolidge ROUSMANIERE

大英博物館/イースト・アングリア大学、 セインズベリー日本藝術研究所

ユー スギョン

京都精華大学国際マンガ研究センター/ 京都国際マンガミュージアム

吉村 和直

京都精華大学

### **M** ICOM会員のみ

# パネルディスカッション

⑥ 英・仏・西・日

16:30-18:00

**■**会場 メインホール(1階)

# 博物館と地域発展

ICOM と OECD (経済協力開発機構) による、博物館、地方自治体の代 表者が博物館・コミュニティ・地方自治体の関係について様々な角度 から検討する合同セッションです。地域の持続可能な発展に向けたよ りよい行動計画を策定するための具体的な戦略について討議します。

### ■モデレーター Dorota FOLGA-JANUSZEWSKA

ヤン3世宮殿博物館(ワルシャワ・ヴィラヌフ)副館長 ICOMポーランド元委員長

Joana Sousa MONTEIRO

リスボン博物館館長 ICOM CAMOC委員長

門川 大作 スピーカー

京都市長

Lamia KAMAL-CHAOUI

OECD起業・中小企業・地域と都市センター局長

Peter KELLER ICOM事務局長

Luis Orlando REPETTO MÁLAGA 教皇庁立カトリック大学 リバ・アグエロ研究所 美術・大衆伝統博物館館長 ICOMペルー副委員長

### ソーシャル・プログラム

18:00-21:00

■会場 北山エリア

# ソーシャルイベント 北山エリア

詳細は64ページをご覧ください。

18:15-20:40

★会場 京都府立京都学·歴彩館

# ICOM×ペチャクチャナイト京都 テーマ:コミュニティとミュージアム

詳細は64ページをご覧ください。

19:00-21:00

■会場 京都観世会館

能・狂言

狂言 「附子 |

能「船弁慶 前後之替 |

※事前申込制、英語解説付

詳細は65ページをご覧ください。

# 9.4(水) 各委員会等セッション

ICOM委員会等のリストは32ページをご覧ください。 各セッションの詳細情報はICOM京都大会公式アプリをご確認ください。

### 合同セッション

# CIDOC and CIMCIM

13:30-16:00 Room H(1階)

音楽と楽器のドキュメンテーション

# CIDOC and COMCOL

13:30-17:00 Room G(1階)

伝統、収蔵品・所蔵品、マネジメントシステム、 デジタルツール

# COSTUME and ICOMAM

13:30-18:00 稲盛記念会館 Room 102 (1階) ファッションと軍隊

# GLASS, ICDAD and ICFA

温故知新一東西の美術と工芸

# ICOFOM and ICOM-CC

資料保存の本質

# ICOM オランダ, ICOM 日本, DEMHIST and EXARC

協働が生み出す大きな力

# INTERCOM and ICOM SEE

13:30-16:00 稲盛記念会館 Room 208 (2階) 団結する博物館

16:30-18:00 稲盛記念会館 Room 208 (2階) 博物館の影響

# Regional Alliances

16:30-18:00 Room J (2階)

全地域連盟役員会

#### 国際委員会

### **AVICOM**

13:30-16:00 Room 509A(5階)

メディアによるインクルージョン強化のための 障壁削減

16:30-18:00 Room 509A(5階)

AVICOM 総会:メディアを介したパブリック コミュニケーションの機会

# CAMOC

多文化主義の再検討:

都市の博物館の様々な「多様性」との共生

16:30-18:00 Room C-1(1階)

都市博物館のトレンド:

積極的な収集とコレクションの活性化

## **CECA**

社会正義のための博物館教育

13:30-14:15 Room B-2(2階)

様々な利用者のための教育プログラム

14:30-16:00 Room B-1 (2階)

博物館の内と外

14:30-16:00 Room B-2(2階) 博物館の可能性 16:15-18:00 Room B-1 (2階) マーケット・オブ・アイデア I

16:15-18:00 Room B-2(2階)

マーケット・オブ・アイデアⅡ

### CIDOC

16:30-18:00 Room H (1階)

ドキュメンテーション方針・計画

17:00-18:00 Room G(1階)

ドキュメンテーション標準と情報連携

# CIMCIM

16:00-16:50 Room 509B (5階) 学校制度と教育プログラム

16:50-18:00 Room 509B (5階) 教育と展示会

### CIMUSET

14:30-16:00 ④ 英→日 稲盛記念会館 Room 201 (2階) 科学技術遺産と持続可能性

16:30-18:00 稲盛記念会館 Room 201 (2階) CIMUSET 総会

# **CIPEG**

13:30-16:00 Room 663 (6階)

コレクションの歴史/スーダンのコレクションと ミイラ・プロジェクト/協力プロジェクトと研究

16:30-17:00 Room 663 (6階)

協力と研究

17:00-18:00 Room 663 (6階)

CIPEG総会

### COMCOL

17:00-18:00 Room 664 (6階)

COMCOL総会

### **ICAMT**

13:30-16:00

稲盛記念会館 Room 207 (2階)

ICAMTワークショップ: ミラノ 2019、回顧

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 207 (2階)

博物館建設プロジェクト:

リノベーション、展示、持続可能性、アイディア

### ICEE

13:30-18:00 Room K(2階)

巡回企画展の開発・運営における、社会的要請や 展示技術の変化に対する対応力の構築、及び、 昨今のオーディエンスを見据えた協力関係の 構築やつながりの強化 II

### **ICLCM**

13:30-18:00 Room 665 (6階)

ICLCM総会

### **ICMAH**

13:30-14:45

稲盛記念会館 Room 106 (1階)

介在のあり方 II

14:45-16:00

稲盛記念会館 Room 106 (1階)

考古学分野における

文化拠点の概念についての議論

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 106 (1階)

考古学と歴史博物館分野における文化拠点の

新たなビジョンについての議論

### **ICME**

13:30-16:00 ④ 英→日

Room F (1階)

多様性と普遍性のかなたにある思考、設計、作業

16:30-18:00

Room F (1階)

博物館資料の返却と返還、調停と癒し

# **ICMEMO**

Room I (2階)

アンネ・フランクの家:文化的架け橋の構築… アムステルダムから京都へ

### **ICMS**

13:30-14:10

Room 509B (5階)

京都の文化財消防と防災対策

(現地視察に関するレクチャー・解説)

14:15-17:00

清水寺・産寧坂地区

現地視察:清水寺・産寧坂地区 (事前参加登録制·ICMS会員優先)

### **ICOMON**

13:30-15:15

稲盛記念会館 Room 101 (1階)

文化の結節点としての貨幣博物館 -未来への視点 II

15:15-16:00

稲盛記念会館 Room 101 (1階)

ICOMON総会

### **ICR**

13:30-18:00 ④ 英→日

稲盛記念会館 Room 103 (1階)

文化・自然遺産の持続可能な利用を促進する 地域博物館 III/ポスターセッション

### **ICTOP**

稲盛記念会館 Room 203 (2階)

博物館人材育成の要:

┃50年を振り返り、50年先を見据えて III

## **MPR**

13:30-18:00

Room 103 (1階)

地域コミュニティと博物館

### **NATHIST**

13:30-18:00 ④ 英→日

Room C-2 (1階)

自然史博物館:自然と文化の間の連結 III

### **UMAC**

13:30-14:30

稲盛記念会館 Room 204 (2階)

デジタル化する時代における大学博物館の試み

13:30-14:30

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

国際的な協働

13:30-14:30

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

国内および国際的な調査と視点

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 204 (2階)

教育の中心となるコレクション

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

評価、査定、認定

14:30-16:00

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

大学博物館とコレクションにおける政治的、

文化的、社会的課題

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 204 (2階)

コレクションへの新たなアプローチ

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 205 (2階)

新たなアイディアと新たな博物館:

未来を再考する

16:30-18:00

稲盛記念会館 Room 206 (2階)

大学博物館の実験的役割

#### 地域連盟

### **ICOM ARAB**

13:30-16:00 Room 664(6階)

ICOMアラブ総会

### ICOM EUROPE

14:30-16:00 Room J(2階)

ICOMヨーロッパ総会

### **ICOM LAC**

14:30-16:00 Room 501(5階)

ICOM LAC総会

### 国内委員会

# ICOM オーストリア

13:30-14:30 Room さくら(1階)

ICOMパルミラ・トーク

# ICOM ブラジル

16:30-18:00 Room 679(6階)

ICOM南対南博物館対話

### 加盟機関

### **FIHRM**

13:30-18:00 Room 554A+B(5階)

博物館における国際的対話と人権

- ネットワークの創造

#### 特別委員会

### ICOM SPC

13:30-16:00 Room 679(6階)

ここからどこへ?

ICOM戦略的計画常設委員会(SPC)

#### スポンサーセッション

# Goppion Technology Japan

10:15-11:05 イベントステージ (イベントホール) 展覧会デザインと博物館学: 東と西の間の解釈についての対話

# THK株式会社

11:10-12:00 イベントステージ (イベントホール) 文化財を地震から守る THK 免震

# Tianyu Culture Group Co., Ltd.

13:30-14:20 イベントステージ (イベントホール) 中国博物館協会による国際展示交流プラット フォームの開発および管理について

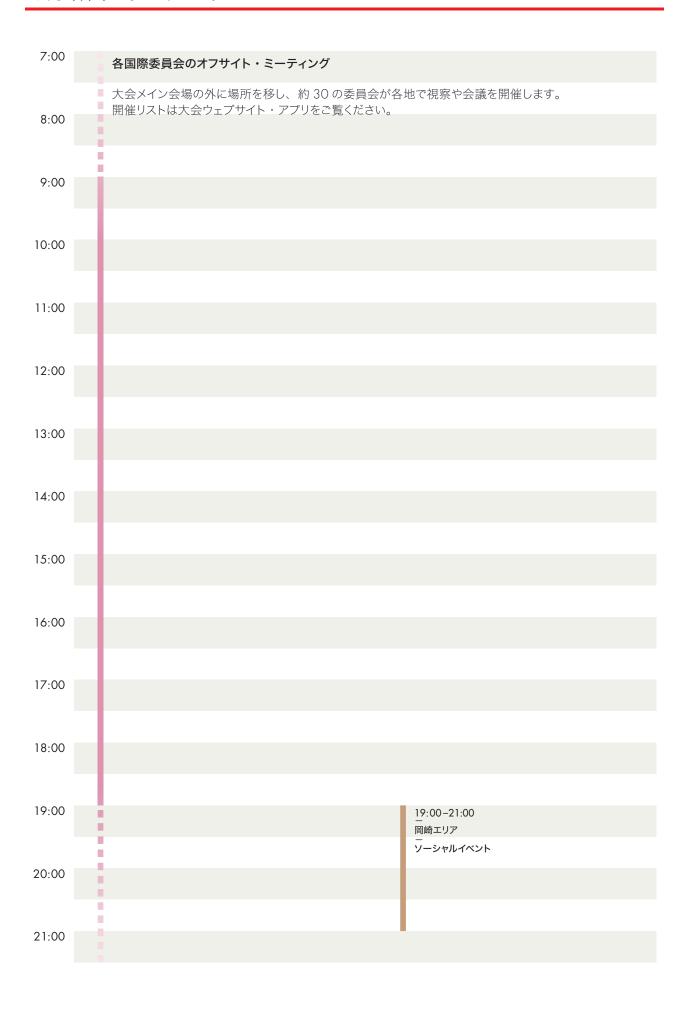
### 大塚国際美術館・大塚オーミ陶業株式会社

14:25-15:15 イベントステージ (イベントホール) 焼きものの複製が生み出す文化価値

### 読売新聞社

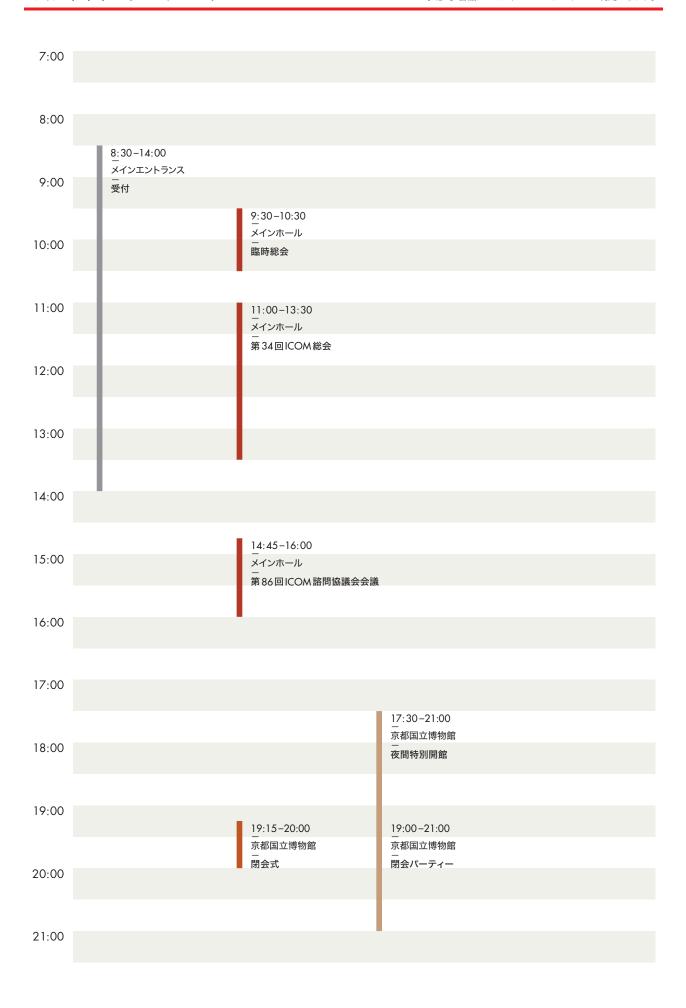
15:20-16:10 イベントステージ (イベントホール) 正倉院展トークイベント

# 9.5(\*)タイムテーブル



# 9.6 (金) タイムテーブル





# ICOM規約に基づく会議

№ 英・仏・西・日

19:00-21:00

9:30-10:30

■会場 京都国立博物館

ソーシャル・プログラム

**■**会場 メインホール(1階)

# 閉会パーティー

臨時総会

大会参加者は17:30から夜間特別開館をお楽しみいただけます。 閉会パーティーは19:00から、閉会式は19:15より開始です。

臨時総会はICOM規約の修正に関して投票を行います。

ICOM規約に基づく会議

M ④ 英・仏・西・日

11:00-13:30

**■**会場 メインホール(1階)

# 第34回 ICOM総会

ICOMの代表者が集まる意思決定機関で、投票により年次報告書 と財務諸表の採否を決定します。

# ICOM規約に基づく会議

最 € 英・仏・西・日

14:45-16:00

【会場 メインホール(1階)

# 第86回 ICOM 諮問協議会会議

諮問協議会を構成する各国内・国際委員会委員長、地域連盟、加盟 機関が集い、ICOMの方針、プログラム、手続き、財務について協議 します。

# 式典

● 英・仏・西・日

19:15-20:00

■会場 京都国立博物館

# 閉会式



ソーシャル・プログラム

# 開会パーティー

9.2〈月〉18:30-20:30

会場:国立京都国際会館



ICOM京都大会の開幕を祝して、国立京都国際会館の日本庭園にて開会パーティーを開催いたします。パーティーでは、京都の食材がふんだんに使われた料理を片手に、世界中から参加するミュージアム関係者との交流をお楽しみください。また、芸舞妓による伝統芸能も披露されますので、あわせてご堪能ください。

# ソーシャル・イベント 二条城

9.3 〈火〉 19:00-21:00

会場:二条城



ユネスコ世界遺産の二条城を閉城後、大会参加者のみに特別公開いたします。国宝「二の丸御殿」を夜間特別に拝観いただけます。また、同日に開催している現代芸術のアーティストによるイベントもご覧いただくことが出来ます。歴史的建造物である世界遺産二条城と現代美術によるコラボをお楽しみください。当日は、軽食や日本酒も振る舞われます。

# ソーシャル・イベント 北山エリア

9.4 (水) 18:00-21:00

会場: 北山エリア



京都府立植物園では、観覧温室ナイトツアーや京都の希少植物展などを実施し、京都府立陶板名画の庭では、日本を代表する建築家の安藤忠雄氏設計の建物と陶板名画をご覧いただけます。また、京都府立京都学・歴彩館では、国宝「東寺百合文書」収蔵庫を特別公開する見学ツアーや大会記念展示をご用意しています。さらに、同館では、小ホールにて、地域の博物館等による展示・販売イベント(「みゅぜコット2019 in京都」)、大ホールにて、ICOMとペチャクチャナイト京都のコラボによる「コミュニティとミュージアム」をテーマにした若手によるプレゼンテーション(ペチャクチャナイト)を同時開催します。イベントの合間には、軽食もお楽しみください。

# ソーシャル・イベント 岡崎エリア

9.5 (木) 19:00-21:00

会場: 岡崎エリア



数ある会場のひとつ平安神宮では、雅楽の生演奏とライトアップされた国の名勝指定の庭園をお楽しみいただけます。京都市動物園ではナイトツアーが企画され、京都国立近代美術館と細見美術館(開館は20:00まで)も夜間開館されます。京都国立近代美術館のレセプションでは軽食をお楽しみください。さらに、京都伝統産業ふれあい館では、和ろうそくなどの伝統工芸職人の実演や日本酒の振る舞いがございます。京都を代表する文化ゾーン・岡崎エリアでの周遊をお楽しみください。

# 閉会パーティー

9.7 (土) 19:00 - 21:00

会場:京都国立博物館



ICOM京都大会の閉会パーティーは、2017年に開館120年を迎えた京都国立博物館にて開催いたします。当日は、平成知新館にて開催中のICOM京都大会開催記念特別企画「京博寄託の名宝」をご覧いただけるほか、軽食を取りながらライブパフォーマンスもお楽しみいただけます。また、重要文化財に指定されている明治古都館も特別に開館されます。

# 能・狂言

9.3 〈火〉 / 4 〈水〉 19:00 - 21:00

会場:金剛能楽堂/京都観世会館



⑥公益計団法人日本能楽協会

9月3日と4日には、ICOM京都大会参加者向けに日本の伝統芸能である能楽(能、狂言)を金剛能楽堂及び京都観世会館で開催します。能楽は室町時代(14~16世紀)からほとんど変わらない衣装とセリフで演技することから、現存する世界最古の舞台芸術と形容され、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。今回は初めて鑑賞する方にもわかりやすい演目を英語解説付きで行います(無料、事前申込制)。

# ポストカンファレンスツアー

事前申込制 (先着順)



大会会期後には、ICOM京都大会参加者専用の北海道、沖縄、東北、東京方面へのツアーを用意しました。ツアーは、地元関係者とICOM京都、大会参加者の交流を目的に、地域の歴史や文化、自然など様々な学術的内容について議論を深める場となります。お申込受付は先着順で、大会ウェブサイトまたは、会場の登録受付エリアにあるトラベルデスクにてお申し込みください。

# 関連イベント



ICOM京都大会期間中は、京都の文化的なアクティビティに触れるチャンスです。京都府市内各所で、伝統芸能や現代アートの展示などの様々な文化イベント、市内ミュージアムの夜間開館、寺社仏閣の特別無料公開などが実施されます。さらに、普段、一般公開されていない庭園や社寺の秘宝などの特別公開も企画されています。また、それに合わせて、特別ガイドツアーなども実施されます。ぜひ、この機会に京都の奥深い文化を体験してください。各イベント詳細は大会ウェブサイト、アプリでご確認ください。

# 9.6〈金〉

事前申込制(先着順)

国際博物館会議の楽しみのひとつであるエクスカーションでは、観光ツアーとはひと味違った特別な体験が待っています。京都大会では、9月6日(金)がエクスカーションの日です。京都市と京都府を中心に関西エリアまで、地域の文化や歴史

に触れる40以上の多彩なコース(半日・終日)を用意しました。 お申込受付は先着順で、大会ウェブサイトまたは、会場の登 録受付エリアにあるトラベルデスクにてお申し込みください。





インフォメーション

# Accessibility/バリアフリー設備

国立京都国際会館(ICC Kyoto)は、以下の設備が整備されたバリアフリー施設です。

- 車いす使用者のためのエレベーターやスロープ
- 車いす使用者用トイレやオストメイト対応トイレ
- 赤ちゃん用オムツ替え台付きトイレ

各施設の設置場所は、74~75ページでご確認いただけます。

# Accompanying Persons/同伴者

同伴者の会場への入場は限定されています。同伴者は、ミュージアム・フェア、各種ソーシャル・イベント、エクスカーションに参加でき、昼食券・市バス地下鉄7日間フリーパスも支給されます。同伴者は、基調講演や各種セッション、開会式及び閉会式には出席できません。コングレスバッグおよびプログラムブックは同伴者には支給されません。

# App/大会公式アプリ

ICOM京都大会公式アプリは、大会参加をより充実させることができます。公式アプリでは以下の機能や情報をご利用いただけます。

- プログラム日程表
- 講演者一覧
- ミュージアム・フェア出展者
- 地図およびフロアガイド
- 各種ソーシャル・プログラム

本アプリは、App Store (iOS) または Play Store (Android) からダウンロードできます。ダウンロードして、ぜひ最新情報をご確認ください。

# Badge/ネームバッジ

すべてのセッション・イベントへの出席には、ネームバッジ が必要となります。各参加者は、会場入場時にネームバッジを はっきり見えるように提示してください。バッジを紛失した場 合、紛失したバッジは無効化し、再発行の費用として10,800 円の手数料をお支払いいただきます。

### Business Center/ビジネスセンター

メイン会場本館1階には、ビジネスセンターが完備されており、プリンター、コピー機、スキャナー、両替機などを、セルフサービスでご利用いただけます。

#### ご利用可能時間

9月1日 08:30-20:00 9月2日 07:30-18:00 9月3日 08:00-18:00 9月4日 08:00-18:00 9月7日 08:30-17:00

# Certificate of Attendance/参加証明書

大会終了後には、ICOM京都大会の公式参加証明書が発行されます。ICOM京都大会2019運営事務局(登録担当)から送られてくるEメールのリンクより、証明書をダウンロードできます。

# Cloakroom, Luggage/クロークルーム

クロークルームは、ニューホールエントランス付近にご用意しています。ただし、9月7日(土)に限り、メインロビーに設置されます。手荷物の夜間のお預かりはできませんのでご注意ください。

### クローク受付時間

9月1日 08:30-20:15 9月2日 07:30-20:45 9月3日 08:00-18:15 9月4日 08:00-18:15 9月7日 08:30-17:15

### Coffee Breaks/休憩時間

休憩時間には、メイン会場の各フロア、およびサテライト 会場となる稲盛記念会館で、コーヒー・お茶等をご用意して います。

※ミュージアム・フェア開催中は、The Cafe Terrace(イベントホール2階) またはアネックスホールにて、コーヒースタンド (有料) もご利用できます。

# Currency Exchange/通貨·両替

現金でのお支払いには、日本円(¥)のみ利用できます。通貨の両替は、メイン会場本館1階のビジネスセンターに設置されている紙幣専用の両替機で下記の通貨から日本円に両替できます。

米ドル、スターリング・ポンド紙幣 (スコットランド・ポンドは対象 外)、豪ドル、香港ドル、シンガポール・ドル、ユーロ、人民元、 新台湾ドル、インドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、 大韓民国ウォン、タイ・バーツ

# First Aid/救急対応

医務室は、メイン会場本館1階にあり、看護師が待機しています。まずは、お近くのスタッフ・ボランティアにお声がけくさい。また、ニューホール1階にある受付でも対応できます。

### Insurance and Liability/保険·免責事項

大会主催者(6ページ参照)は、大会中もしくは大会への出席により生じる負傷または所持品の紛失・損傷等に対する責任を負いません。参加者の皆様には、ご自身の保険適用対象をあらかじめご確認されることをお勧めします。

# Internet Access/インターネットアクセス

メイン会場および稲盛記念会館、京都府立京都学・歴彩館 大ホールでは、Wi-Fiを無料でご利用いただけます。ネット ワークには、以下のSSIDおよびパスワードで接続できます。

SSID: ICOMKYOTO2019-Free-WiFi

Password: icomkyoto2019

# Language Support/言語サポート

一部のセッションでは、同時通訳 (英語、フランス語、スペイン語、日本語) が提供されます。詳しくは、プログラム詳細 (31 ~ 62ページ 参照) をご覧ください。

また、お手持ちのスマートフォンでは、字幕・翻訳サポートアプリをご利用いただけます。詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

おもてなしガイド

http://omotenashiguide.jp/

### Lunch/昼食

昼食用のお弁当は、ミュージアム・フェア会場(イベントホール、ニューホール、アネックスホール)の指定エリア、および本館の宴会場さくらで以下の時間帯にネームバッジに添付しているバウチャーと引き換えに配布致します。

9月1日 12:00-13:30 (メイン会場1階宴会場さくら)

9月2日 13:15-14:30 9月3日 12:00-13:30 9月4日 12:15-13:30

(イベントホール、ニューホール、アネックスホール)

9月7日 13:30-14:45 (メイン会場1階宴会場さくら)

# Membership Office/会員オフィス

メイン会場本館1階のRoom 101には、会員オフィスをご 用意しております。会員オフィスは、以下の時間帯にご利用い ただけます。

9月1日 10:00-12:00 | 13:30-17:30 9月2日 10:00-13:00 | 14:30-17:30 9月3日 10:00-12:00 | 15:00-17:30 9月4日 10:00-12:00 | 15:00-17:30

# Nursery Service/託児サービス

お子様連れの大会登録済みの参加者は、会場施設内の託児 サービスを、ご利用いただけます。ご利用には事前予約が必 要です。

対象年齢:3か月~6歳まで

ご利用可能時間

9月2、3、4、7日 8:30-18:30

# Photo and Video Recording/写真・ビデオ撮影

大会主催者は、本大会の様子を様々な形で関係者と連携し、発信します。そのため参加者は、会議やミュージアム・フェア、各種ソーシャル・イベント出席中など、あらゆる場面で撮影される可能性があり、プレゼンテーション等も録音される可能性があります。撮影を希望しない場合は、カメラマンに直接その旨をお伝えください。

# Prayer Rooms/祈祷室

メイン会場6階のRoom 670(男性)およびRoom 672(女性)には、祈祷室をご用意しています。祈祷室は、以下の時間帯にご利用いただけます。

9月1日 09:00-18:00 9月2日 08:30-21:00 9月3日 08:30-18:30 9月4日 08:30-18:30 9月7日 09:00-17:30

# Press, Media/プレスルーム

メイン会場5階のRoom 506には、プレスルームを用意しています。プレスルームは、以下の時間帯にご利用いただけます。

9月1日 09:00-18:00 9月2日 08:30-21:00 9月3日 08:30-18:30 9月4日 08:30-18:30 9月7日 09:00-17:30

報道・取材に関するお問い合わせ先

ICOM京都大会2019運営事務局(株式会社コングレ内)

E-mail: icom2019-reg@congre.co.jp

記者会見は、9月7日(土)の16:00-17:00に開催されます。

# Programme Changes/プログラムの変更

大会主催者は、不測の事態によるプログラムの変更に対して責任を負いません。本プログラムブック発行後の変更事項は、大会公式アプリでご確認ください。

# Public Transportation (Kyoto Convention Pass) / 公共交通機関 (京都コンベンションパス)

一日券の登録者を除き、参加費には京都市バス地下鉄7日間フリーパスが含まれています。このコンベンションパスは、ニューホールのコングレスバッグ専用デスクで支給されます。

# Registration/登録·受付

受付カウンターは、メイン会場ニューホールのロビーにあり、以下の時間帯にご利用いただけます。ただし、9月7日(土) に限り、受付カウンターがメイン会場本館1階のメインロビーに移動しますのでご注意ください。

9月1日 08:30-19:00 9月2日 07:30-18:00 9月3日 08:00-18:00 9月4日 08:00-18:00 9月7日 08:30-14:00

# Social Media/ソーシャルメディア

ハッシュタグ "#ICOMKyoto2019" を使ってICOM京都 大会に関する情報を共有しましょう。以下のICOM及び ICOM京都大会ソーシャルメディアにて最新情報もご確認い ただけます。

#### **ICOM**

Instagram: instagram.com/icomofficiel/ Facebook: facebook.com/IcomOfficiel/ Twitter: twitter.com/icomofficiel/

ICOM Kyoto 2019

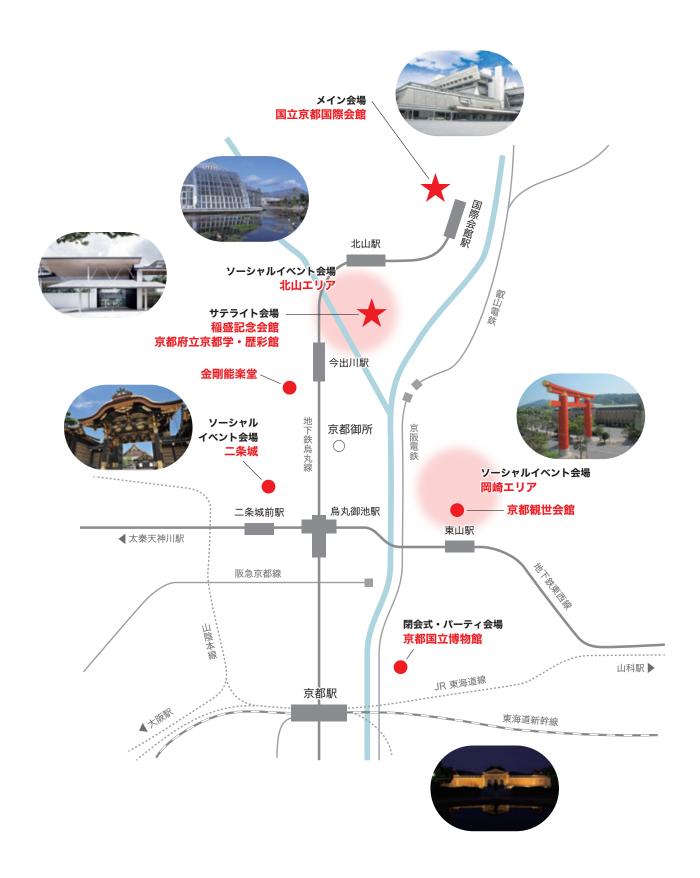
Instagram: instagram.com/icomkyoto2019/ Facebook: facebook.com/icomkyoto2019/

## Volunteers/ボランティア

会場では、ボランティアが参加者をサポートします。ボランティアは、わかりやすいように本大会オリジナルTシャツを着用しています。

ICOM京都大会の主催者は、本大会の成功に向けたボランティアの皆様による多大な貢献に、心より感謝申し上げます。





## メイン会場

#### ●国立京都国際会館 (ICC Kyoto)

住 所:〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

**最寄駅**:地下鉄烏丸線「国際会館駅」

出入口4-2から徒歩5分

※京都駅からの所要時間 地下鉄利用で25分またはタクシーで

35分

## サテライト会場

#### ●稲盛記念会館

(「稲盛財団記念館」ではありませんのでご注意ください)

\*京都府立京都学・歴彩館からアクセスしてください **住 所**: 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

**最寄駅**:地下鉄烏丸線「北山駅」 1番出口から徒歩4分

※国立京都国際会館からの所要時間 約20分

#### ●京都府立京都学・歴彩館

**住 所**: 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29

最寄駅:地下鉄烏丸線「北山駅」 1番出口から徒歩4分

※国立京都国際会館からの所要時間 約20分

## ソーシャル・イベント

#### ●二条城

**住 所**:〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541

**最寄駅**:地下鉄東西線「二条城前駅」

1番出口徒歩5分

※国立京都国際会館からの所要時間 約30分

(「烏丸御池駅」乗り換え)

#### ●北山エリア

(京都府立植物園)

住 所:〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町

最寄駅:地下鉄烏丸線「北山駅」 1番出口から徒歩4分

※国立京都国際会館からの所要時間 約20分

#### ● 岡崎エリア

(京都国立近代美術館)

**住 所**: 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町26-1

最寄駅:地下鉄東西線「東山駅」 1番出口から徒歩10分

※京都駅からの所要時間 約25分(「烏丸御池駅」乗り換え)

#### ●京都国立博物館

**住 所**:〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

最寄駅:地下鉄烏丸線「京都駅」

中央改札口から徒歩20分またはタクシーで10分

※国立京都国際会館からの所要時間 約45分

#### ●金剛能楽堂

住 所:〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上ル

最寄駅:地下鉄烏丸線「今出川」駅 6番出口から南へ徒歩5分

※国立京都国際会館からの所要時間 約25分

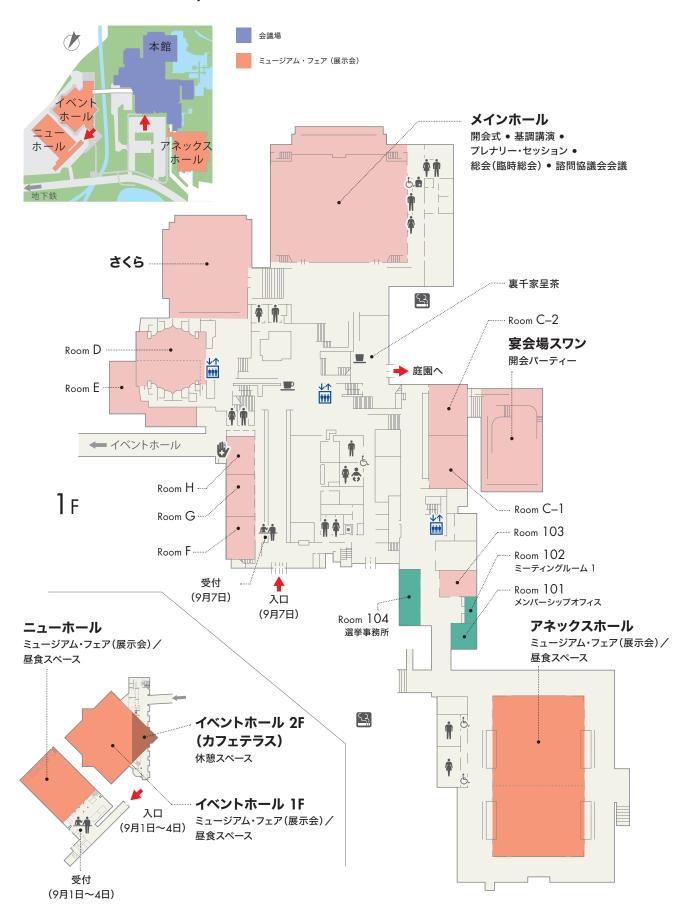
#### ●京都観世会館

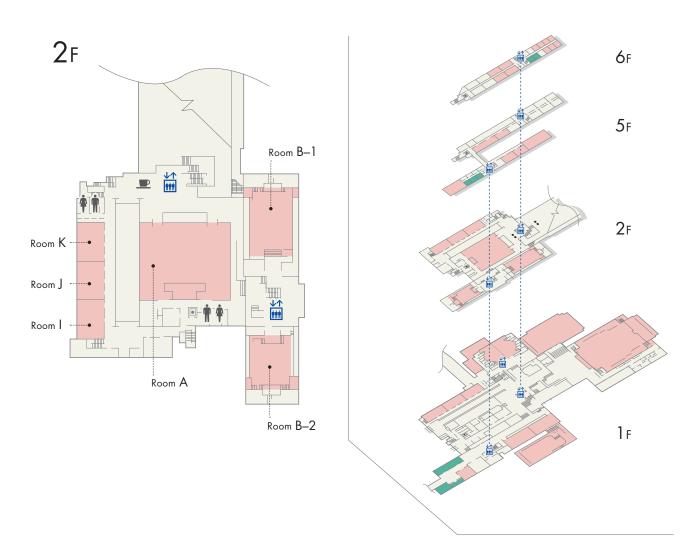
**住 所**: 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44

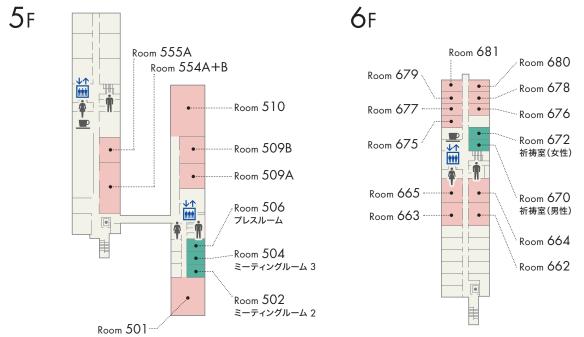
**最寄駅**:地下鉄東西線「東山」 1番出口から徒歩約5分

※国立京都国際会館からの所要時間 約40分

## 国立京都国際会館 (ICC Kyoto)



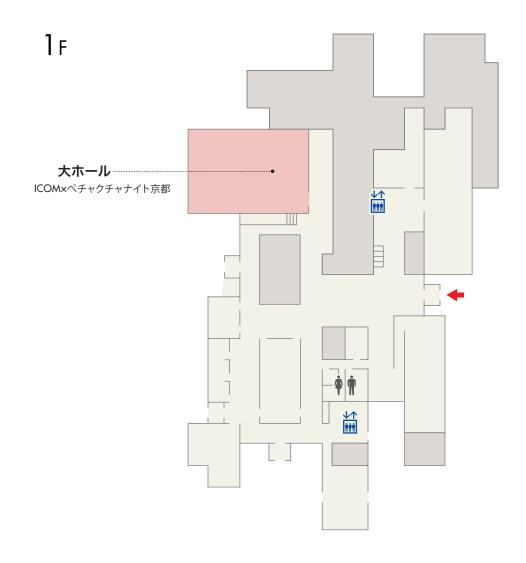




## | 稲盛記念会館

**2**F 1 F Room 204 Room 103 Room 205 Room 102 Room 203 Room 206 Room 104 Room 101 視聴覚室  $\mathsf{Room}\ 207$ Room 105 Room 208 Room 106 \* Room 202 カフェ Room 201

## 京都府立京都学・歴彩館





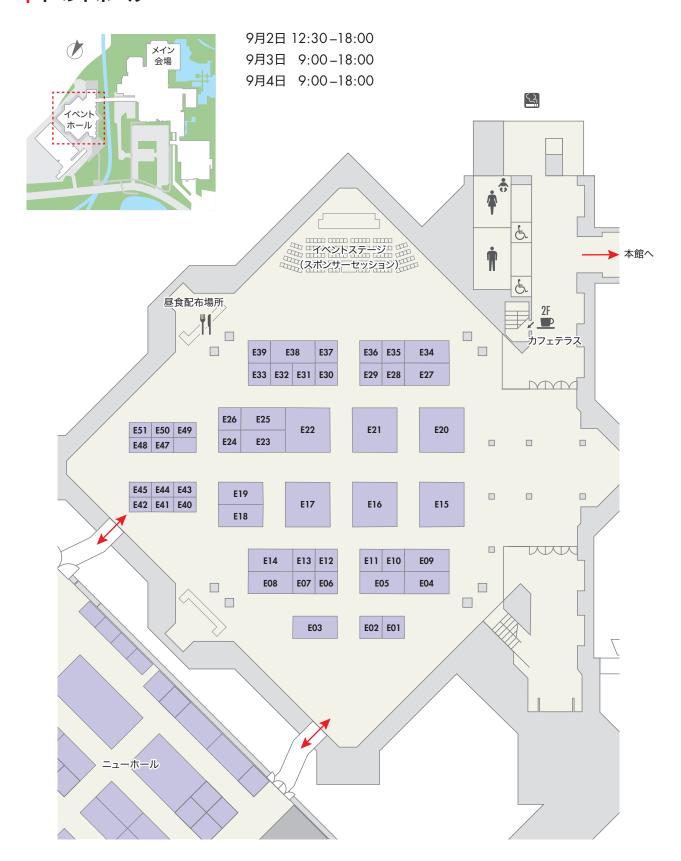


ミュージアム・フェア

ミュージアム・フェアはイベントホール、ニューホール、アネックスホールの3つの会場にて開催されます。

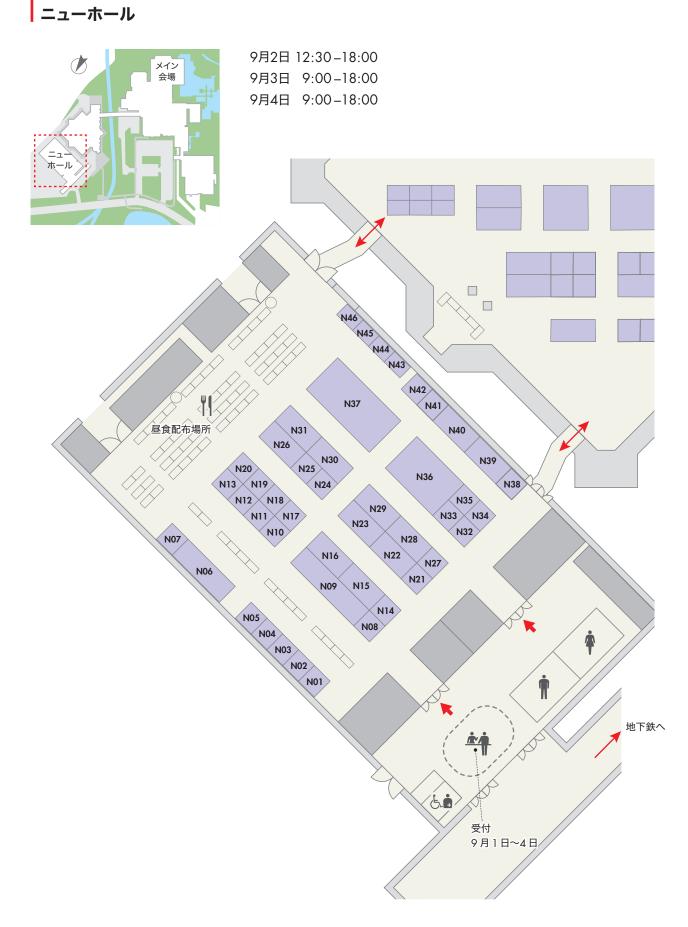
#### 国立京都国際会館

#### イベントホール



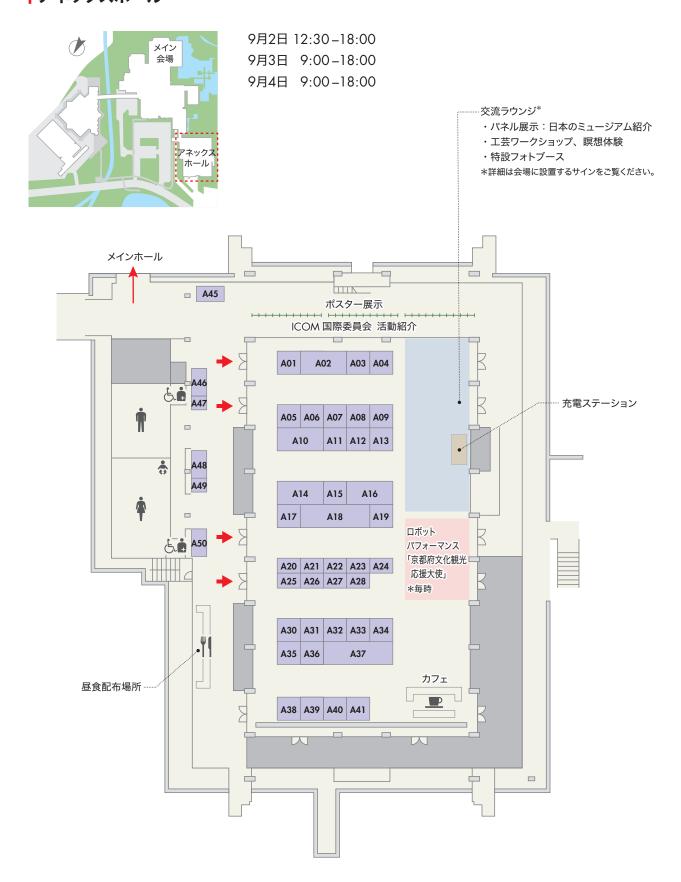
| E01 | サラヤ株式会社                            |
|-----|------------------------------------|
| E02 | 野村證券株式会社                           |
| E03 | 株式会社俄                              |
| E04 | 日本通運株式会社                           |
| E05 | JR西日本                              |
| E06 | hakuhodo-VRAR Microsoft            |
| E07 | 株式会社NHKプロモーション                     |
| E08 | 日本放送協会                             |
| E09 | 株式会社大伸社                            |
| E10 | SoundUD推進コンソーシアム                   |
| E11 | 株式会社丹青社・株式会社丹青研究所                  |
| E12 | 東洋インキ株式会社                          |
| E13 | SHARP 8K インタラクティブミュージアム            |
| E14 | NHKエデュケーショナル                       |
| E15 | THK株式会社                            |
| E16 | 凸版印刷株式会社                           |
| E17 | 読売新聞社                              |
| E18 | ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社            |
| E19 | 株式会社堀場製作所 / 株式会社堀場テクノサービス          |
| E20 | 大塚国際美術館・大塚オーミ陶業株式会社                |
| E21 | 公益財団法人 石橋財団                        |
| E22 | Tianyu Culture Group Co., Ltd.     |
| E23 | エボルブテクノロジー by ナスクインターナショナル         |
| E24 | コニカミノルタジャパン株式会社                    |
| E25 | 株式会社キテラス                           |
| E26 | ピープルソフトウェア株式会社                     |
| E27 | 大和ハウス工業 (Daiwa Sakura Aid)         |
| E28 | 株式会社YAMAGIWA                       |
| E29 | NISSHA 株式会社 / 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 |
| E30 | NECネッツエスアイ株式会社                     |
| E31 | 公益財団法人 笹川保健財団                      |
| E32 | 株式会社 便利堂                           |
| E33 | 株式会社USEN                           |
| E34 | 大日本印刷株式会社                          |
| E35 | 第26回ICOM大会                         |
| E36 | ICOM and Routledge                 |
| E37 | 株式会社 島津製作所                         |
| E38 | Goppion Technology Japan           |
| E39 | タキヤ株式会社                            |
| E40 | 株式会社バーテック                          |
| E41 | 光明理化学工業株式会社                        |
| E42 | 技研トラステム株式会社                        |
| E43 | Scala Arts & Heritage Publishers   |
| E44 | TRC-ADEAC株式会社: デジタルアーカイブシステム ADEAC |
| E45 | 若井産業株式会社                           |
| E47 | NOK株式会社                            |
| E48 | 株式会社クロスエフェクト                       |
| E49 | セキセイ株式会社                           |
| E50 | チケッツ インターナショナル                     |
| E51 | クラボウ                               |

## 国立京都国際会館



| N01   | Olympic Museums Network  |
|-------|--|
| N02   | 2025年大阪・関西万博   |
| N03   | 一般社団法人流体八一モニー研究所   |
| N04   | 富士ゼロックス京都株式会社  |
| N05   | 想芸館 浮遊 Factory   |
| N06   | 高柳板金株式会社   |
| N07   | 香老舗、松栄堂  |
| N08   | 株式会社ハシラス   |
| N09-1 | 株式会社TTトレーディング  |
| N09-2 | 三菱ガス化学株式会社グループ   |
| N09-3 | 北京美大文博科技有限公司   |
| N10   | 株式会社 九州ダイト   |
| N11   | 株式会社Stroly   |
| N12   | 株式会社 西尾製作所   |
| N13   | 醍醐寺  |
| N14   | KYOTO'S 3D STUDIO 株式会社   |
| N15   | オリオン機械株式会社   |
| N16   | 株式会社クマヒラ   |
| N17   | 株式会社SCREENホールディングス   |
| N18   | 日本経済新聞社  |
| N19   | 帝国データバンク史料館  |
| N20   | 第一合成株式会社   |
| N21   | The International Journal of Intangible Heritage / National Folk Museum of Korea |
| N22   | 大韓民国 国立中央博物館 / ICOM 韓国委員会  |
| N23   | 能美防災株式会社/株式会社コーアツ  |
| N24   | CLICK NETHERFIELD  |
| N25   | 株式会社 東京光音  |
| N26   | ミネベアミツミ株式会社  |
| N27   | Tru Vue  |
| N28   | コンサベーション・バイ・デザイン   |
| N29   | 国立成功大学博物館  |
| N30   | MoNTUE 北師美術館   |
| N31   | 関東文化財振興会株式会社   |
| N32   | 荒川技研工業株式会社   |
| N33   | 株式会社オカムラ   |
| N34   | アイメジャー株式会社   |
| N35   | 株式会社とっぺん   |
| N36   | National Palace Museum   |
| N37   | Museums of Taiwan  |
| N38   | メイヴァールト  |
| N39   | 4DAGE Technology Co., Ltd.   |
| N40   | Image Access GmbH  |
| N41   | Zone Display Cases   |
| N42   | JVS GROUP s.r.o.   |
| N43   | 天津森羅科技股份有限公司   |
| N44   | Nanjing VITA Cultural Heritage Protection Technology Co., Ltd.                   |
| N45   | 株式会社エルコム   |
| N46   | 株式会社QDレーザ  |

## 国立京都国際会館 アネックスホール



| A01 | 東京富士美術館                              |
|-----|--------------------------------------|
| A02 | NPO 全日本アートフラワーデザイナー協会                |
| A03 | 地方独立行政法人大阪市博物館機構                     |
| A04 | 日本政府観光局 (JNTO)                       |
| A05 | 独立行政法人国立美術館                          |
| A06 | 「板東俘虜収容所関係資料」をユネスコ世界の記憶に! 徳島県、鳴門市    |
| A07 | 兵庫県の美術館・博物館                          |
| A08 | 堺市博物館                                |
| A09 | 独立行政法人国立文化財機構                        |
| A10 | 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト               |
| A11 | 関西広域連合                               |
| A12 | 東大阪市                                 |
| A13 | 国立アイヌ民族博物館設立準備室                      |
| A14 | 国立民族学博物館                             |
| A15 | 京都文化カプロジェクト・京都商工会議所                  |
| A16 | 京都市京セラ美術館                            |
| A17 | 公益財団法人京都古文化保存協会                      |
| A18 | art space co-jin                     |
| A19 | 京都市保健福祉局障害保健福祉推進室                    |
| A20 | 一般社団法人 国宝修理装潢師連盟                     |
| A21 | 三菱一号館美術館/三菱地所株式会社                    |
| A22 | 和歌山県立博物館                             |
| A23 | 京都・大学ミュージアム連携                        |
| A24 | 竹中大工道具館                              |
| A25 | 鯖江市まなべの館                             |
| A26 | NPO法人 文化遺産の世界                        |
| A27 | AKZU LIGHTSYSTEM CO., LTD.           |
| A28 | 株式会社大入                               |
| A30 | 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」                |
| A31 | 公益財団法人東京動物園協会                        |
| A32 | 田中伸明写真事務所                            |
| A33 | IICA大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト             |
| A34 | 日本博                                  |
| A34 | Seoul Museum of History              |
| A36 | 日亜化学工業株式会社                           |
|     |                                      |
| A37 | Relicase Display Engineering Limited |
| A38 | 株式会社ビクセン smARTravel                  |
| A39 |                                      |
| A40 | 株式会社ハイロックス                           |
| A41 | Museumspartner                       |
| A45 | ダジック・アース(京都大学)                       |
| A46 | かんさい・大学ミュージアムネットワーク                  |
| A47 | 和泉市久保惣記念美術館                          |
| A48 | 国際日本文化研究センター                         |
| A49 | ライフミュージアムネットワーク                      |
| A50 | 一般財団法人 古田織部美術館                       |



協

賛

#### プラチナ協賛



#### 公益財団法人 石橋財団

石橋財団は、優れた企業家で文化事業にも取組んだ石橋正二郎により 創設されました。その活動は東京・京橋にあるアーティゾン美術館(旧 ブリヂストン美術館)における美術館事業と、芸術・文化・教育活動を支援 する寄付助成事業を二本の柱としています。旧美術館は2015年5月から新美術館建設のため休館していましたが、本年7月にアーティゾン 美術館に館名変更し2020年1月に開館します。新館名の下、これまで の伝統を引継ぎながら新しい方向へ踏み出していきます。



# 大塚国際美術館

#### 大塚国際美術館・大塚オーミ陶業株式会社

大塚国際美術館は、日本に居ながらにして世界の美術館を体感できる 「陶板名画美術館」です。古代から現代に至る西洋美術史を代表する名 画1,000余点を、大塚オーミ陶業株式会社の特殊技術によって陶板で 原寸大に再現し、展示しています。約4kmにおよぶ鑑賞ルートには、レ オナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲ ルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を一堂に 展示しており、世界の美術館を味わえます。

#### THK株式会社

ミケランジェロが88年の生涯において、最晩年に制作された未完の彫刻『ロンダニーニのピエタ』。約500年前から守り続けられてきた、この文化遺産の移転プロジェクトで直面した課題に対応できたのはTHKでした。

そこには、メカトロニクス機器の性能に飛躍的向上をもたらした独創的技術のLMガイドと、日本で数多くの国宝や文化財を地震から守っている免震装置の経験が活かされています。THKは、免震装置の供給を通じて貴重な文化財を守り後世に伝えて参ります。

# **TOPPAN**

#### 凸版印刷株式会社

凸版印刷は、1997年から文化財のデジタルアーカイブデータの公開手法としてVR技術を用いた「トッパンVR」の開発に取り組み、国内外の貴重な文化財をテーマとしたVR作品を数多く製作しています。製作したVR作品は、VRシアターでの上演やセミナーなど多彩な展開ができ、文化財を後世へ継承するために役立てることができます。今後は、VR作品を文化観光へも展開し、凸版印刷にしか実現できない特別な文化体験を提供していきます。

#### THE YOMIURI SHIMBUN

## 読売新聞

DAILY NEWSPAPER IN JAPAN

#### 読売新聞社

読売新聞社は、世界最大約800万部の全国紙を発行しています。創刊から145年の歴史があります。文化事業も手掛けており、国内外の主要美術館・博物館と展覧会を数多く開催してきました。全国約150の公立美術館が加盟する美術館連絡協議会(美速協)の運営にも携わっています。2018年には、文化庁、宮内庁と「紡ぐプロジェクト」を発足させました。展覧会などの収益を国宝・重要文化財の修理に充て、ポータルサイトでの情報発信を通じ、日本の美を守り伝えます。

## ゴールド協賛



#### 株式会社大伸社

印刷物を通して、感動をひとりでも多くの人に伝えるため、私たちは常 に挑戦をしています。

私たちの設備は、とりたてて特殊なものではありません。しかし私たちには、無数に存在する素材や技術の組み合わせの中から、最適な手法を考え、見つけ出せる経験と印刷物に対する愛情があります。



#### 大和ハウス工業 (Daiwa Sakura Aid)

大和ハウス工業の創業者・石橋信夫は、奈良県・吉野に生まれ、何よりも自然を大切にし、和の精神・和の文化を愛していました。私たちDaiwa Sakura Aidは「共に創る。共に生きる。」という精神のもと、桜と、桜にまつわる歴史や文化、伝統、生活を守り、後世に伝える活動を行っています。



#### 天禹文化集团 TIANYU CULTURE GROUP CO., LTD.

www.chinamuseum.com

Tianyu Culture Group Co., Ltd.

Tianyu Culture Groupは、2002年に設立された博物館サービスに特化した専門的な企業です。

中国初の博物館サービスを提供するグループ企業として、中国の歴史や文明の宣伝のため、博物館産業の資力を効率的に活用しています。 Tianyu Culture Groupは、国際的な展示会のプロデュースから博物館の建設および運営まで幅広いサービスを提供しています。

#### ▶シルバー協賛



#### 大日本印刷株式会社

DNP大日本印刷は、印刷で培ったコアテクノロジーを軸として、視覚 芸術分野を中心に、文化の普及を促進する活動を行ってきました。 それらの実績を活かして、ミュージアムとそれをとりまく環境の豊かな 未来をつくりだすことに貢献いたします。

#### hakuhodo - VR AR



Microsoft

#### hakuhodo-VRAR Microsoft

hakuhodo-VRARは大本山・建仁寺と共同で、国宝「風神雷神図屛風」 を題材にMicrosoft Mixed Realityを活用した「MRミュージアム in 京都」を実施。まったく新しい文化財の鑑賞体験が高く評価され、 JACEイベントアワード最優秀賞を受賞しました。



#### KONICA MINOLTA

#### コニカミノルタジャパン株式会社

JETvarnish3Dはインクジェット方式の箔押しやスポットニス加工を 行う、新しい印刷加工技術です。このデジタル加飾サービスを国内で いち早く導入した印刷会社様と一緒に、斬新なデザインのカードやポ スター、お土産や販促品としてご活用頂けるペーパークラフトなどを 展示します。



## 会株 黄山 美 術 社等社式 KOUZAN FINE ARTS COMPANY

#### 株式会社 黄山美術社

株式会社黄山美術社は、創立以来"文物展"を通じ、広く日本に中国文 化を紹介することを目指す文化産業として活動し、近年は中国に日本 文化を紹介する事業にも積極的に取り組んでおります。常に日本の皆 様方に中国の歴史・文化への理解を深めて頂き、両国の文化交流の一 層の促進を目指しております。



#### 村田機械株式会社

村田機械は、1935年に「西陣ジャカード機製作所」として京都で創業。 繊維機械、ロジスティクス&ファクトリーオートメーション(L&A)、ク リーンルーム内FAシステム、工作機械、板金加工機などの産業機械に 加え、情報機器やセンサ・制御機器など多岐にわたり事業展開してい ます。



#### エボルブテクノロジー by ナスクインターナショナル

AI危険物検知ボディスキャナゲート「EvolvEdge」は、利便性とセキュ リティを両立した画期的なシステムです。スマートフォンを取り出し たり、上着を脱ぐ事なく1時間約800人通過が可能です。会場でぜひお 試しください。ナスクインターナショナルはEvolvEdgeの日本総代理 店です。

## NIKKEI

#### 日本経済新聞社

日経は「日本経済新聞」をはじめ、様々なメディアを通じ、価値ある情 報提供を行っています。フィナンシャル・タイムズ(FT)をグループに 加え、グローバル化を加速。18年秋に若冲展、19年2月に能楽公演を パリで開催するなど国内外で美術展、オペラ、コンサートなどの文化事 業を展開しています。

#### We Find the Way



#### 日本通運株式会社

We Find the Way - 運ぶこと。それは、新しい未来をつくろうとするお 客様の思いを実現すること。だからどんなときでも、ただ一つの最善の 方法を見つけ出し必ずやり遂げる。このような、私たちの強い意志と自 信を、この企業メッセージに込めています。美術品輸送は日本通運に お任せ下さい!

## nissha

NISSHA株式会社/日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 NISSHAは印刷技術にコーティング、ラミネーションなどの様々な技術要素を融合させながら、製品群と対象市場の多様化を図るグローバル企業です。NISSHAグループの日本写真印刷コミュニケーションズは、高精細な画像の入出力技術やデジタルアーカイブ技術を通して文化資産の保全やその活用促進に取り組んでいます。

## NIWAKA

#### 株式会社 俄

京都で誕生した日本有数のジュエラー NIWAKAは、伝統的な職人技の保護と未来に向けた職人の人材育成に取り組んでいます。アトリエには、数百年の歴史を持つ貴重な和彫りと蒔絵技術を受け継いだ職人が複数名在籍しており、歴史的な工芸品の復元を行う活動をしています。

## **NOMURA**

#### 野村證券株式会社

野村グループはアジアをマザーマーケットとし、グローバルに拠点をもつ金融サービス・グループです。創業以来変わらぬ「すべてはお客様のために」という基本観のもと、個人、機関投資家、事業法人、政府機関などの幅広いお客様の声に応え、創造性豊かで付加価値の高いソリューションを提供しています。



#### W O R

#### 森ビル株式会社

森ビルは、「Vertical Garden City-立体緑園都市」を都市づくりの理念に掲げ、「六本木ヒルズ」を「文化都心」と位置付け、人々が同時代の文化を体験・検証できる現代アートの森美術館を運営し、都心の文化発信基地として多くの皆様にアートを楽しむ空間を提供しています。

# Connect Through Life SARAYA

#### サラヤ株式会社

サラヤは世界の衛生・環境・健康の発展に貢献する企業です。今回の展示ブースでは、原料の産地であるボルネオ島の環境保全活動や東アフリカの衛生環境改善などSDGsに関連する取組の紹介と、植物と酵母が生み出す天然洗浄成分「ソホロリピッド」を配合した食器用洗剤や洗濯洗剤をご紹介します。



#### 公益財団法人 笹川保健財団

笹川保健財団は1974年、世界のハンセン病対策のために設立されました。ハンセン病対策事業の他にも、ホスピス緩和ケア事業、公衆衛生向上の事業を行い、精神的、肉体的、社会的な観点からクオリティ・オブ・ヘルスの向上を目指しています。

https://www.shf.or.jp/

## SCREEN

#### 株式会社SCREENホールディングス

当社は、3つのコア技術である「表面処理技術」「直接描画技術」「画像処理技術」を保有し、その事業領域は、印刷、エレクトロニクスから、エネルギー、ライフサイエンスなどへと大きく広がっています。今日の IoT社会を支える様々なソリューションを提供し、持続可能な未来の実現に貢献します。

## **SHARP**

#### SHARP 8K インタラクティブミュージアム

シャープの8Kだからできること。体で感じる鑑賞体験。8K超高精細イメージが生み出す「肉眼では見えないものがリアルに見える」感覚と、インタラクティブ技術を組み合わせた「触る」体験などを交えて没入感を追求。実物の展示を「拡張」し、展示物との距離が無い心に残る鑑賞体験を目指します。



Excellence in Science

#### 株式会社 島津製作所

当社は日本の近代化が進む1875年、京都で教育用理化学器械の製造を始めました。世の中のニーズに応えるべく最先端の開発に挑戦し、様々な製品を産業分野に提供してきました。これからも分析計測、医用、航空、産業の4つの事業分野において、次世代のために貢献できる科学技術を追究していきます。



For a Lively World

#### 大成建設株式会社

大成建設は、1873年の創業以来、歴史を刻んできました。これからもわたしたちは、「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念のもと、自然と調和し、次世代のための夢と希望に溢れた社会づくりに取り組んでいきます。



#### 株式会社丹青社·株式会社丹青研究所

空間づくりのプロフェッショナルとして、年間6,000件以上のプロジェクトをお手伝いしています。体験する楽しさや感動的な要素で、クロスオーバーする「知」の空間づくりを支えます。ノウハウと創造性を活かし、ハード面はもちろん、ソフト面・運営面の様々なニーズに専門サービスでお応えします。

## TOYOIN

#### 東洋インキ株式会社

東洋インキは「科学的実行×革新的発想×活動連鎖 = Scientific Innovation Chain」を企業コンセプトとし、活動の成果として「全ての生活者・生命・地球環境が共存共生する世界の実現 = For a Vibrant World」という価値を提供する企業を目指します。



#### JR西日本

JR西日本は、鉄道をご利用のお客様や、沿線の皆さまのお役に立てるよう、質の高い商品やサービスの提供を進めていきます。

https://www.westjr.co.jp/company/info/pdf/gaiyou.pdf



#### ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

ヤマトグループは今年で創業100周年を迎えます。その中でも美術品 輸送事業は60年以上の歴史を持ち、展覧会を始め国内外の様々な作 品の取扱いを担って参りました。ブースでは当社の歴史やコレクショ ンのサポートサービス、当グループが開発した輸送資材の紹介を行い ます。お気軽にお越しください。

#### ブロンズ協賛



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社



月桂冠株式会社



株式会社長谷ビル



株式会社堀場製作所



NECネッツエスアイ株式会社



株式会社大林組



ローム株式会社



株式会社トータルメディア開発研究所



株式会社USEN



株式会社YAMAGIWA

## Daiwa Securities

大和証券株式会社 京都支店



Goppion Technology Japan



株式会社ハシラス



京セラ株式会社

## **B** NOMURA

株式会社乃村工藝社

## **OMRON**

オムロン株式会社

## 東京海上日動

東京海上日動火災保険株式会社



トヨタ自動車株式会社



株式会社ワコールホールディングス

#### ┃物品/サービス協賛



京都便利堂

株式会社便利堂



月桂冠株式会社



グランドプリンスホテル京都



株式会社京都鳩居堂



ピープルソフトウェア株式会社



積水ハウス株式会社





since 1689

株式会社聖護院八ッ橋総本店

## **SUNTORY**

サントリーホールディングス株式会社

## LITERRADA

寺田倉庫株式会社



LifeWear

株式会社ユニクロ



江崎グリコ株式会社



Goppion Technology Japan

Kyoto Aotel Okura

京都ホテルオークラ

#### 

日本通運株式会社

## @ 佐川銒刷株式会社

佐川印刷株式会社



絹谷幸二 天空美術館



損害保険ジャパン日本興亜株式会社



株式会社TBM



株式会社 宇治香園



ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

#### 輸送協賛



彌榮自動車株式会社

#### ネットワーク協賛



シスコシステムズ合同会社



NTTコミュニケーションズ株式会社



西日本電信電話株式会社

## パール協賛

株式会社キャリエール・インターナショナル

第一合成株式会社

株式会社大丸松坂屋百貨店

大和証券株式会社 京都支店

福田金属箔粉工業株式会社

株式会社 福寿園

株式会社フクナガ

株式会社Izutsu Mother

一般社団法人日本ホテル協会京都支部

株式会社 片岡製作所

京華産業株式会社

近建ビル管理株式会社

株式会社 鼓月

株式会社 京都駅観光デパート

京都薬品工業株式会社

京都駅ビル開発株式会社

Michelangelo Foundation for Creativity & Craftsmanship

株式会社Mizkan Partners MIZKAN MUSEUM

佐川印刷株式会社

サムコ 株式会社

SGホールディングス株式会社

株式会社しょうざん

株式会社たけびし

株式会社トーセ

株式会社 祇園辻利

株式会社 若林佛具製作所

ワタキューセイモア株式会社

西日本旅客鉄道株式会社

株式会社聖護院八ッ橋総本店

## 助成

公益社団法人一ツ橋綜合財団

**河本博** 

日本博



本事業は、京都府及び公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

**金華明國法人** 鹿島美術財団

公益財団法人カメイ社会教育振興財団

公益財団法人鹿島美術財団



公益財団法人大林財団

公益財団法人三菱財団



THE TOKYO CLUB

一般社団法人東京倶楽部

## **TOSHIBA**

公益財団法人東芝国際交流財団

## 特別協力



キヤノン株式会社



NHK



京都商工会議所



京都駅ビル開発株式会社

## bolda

丸一興業株式会社 bolda事業本部



独立行政法人国立科学博物館



SoundUD推進コンソーシアム



株式会社エフエム京都

## KBS京都

KBS京都



公益財団法人国立京都国際会館

公益財団法人京都伝統伎芸振興財団



株式会社村田製作所



株式会社ニトロプラス

**総 性性 龍村美術織物** 

株式会社 龍村美術織物

#### 協力

サイバー関西プロジェクト

公益財団法人 日本ナショナルトラスト

一般財団法人 京都仏教会

京都工芸繊維大学

京都府神社庁

京都市内博物館施設連絡協議会

京都府立大学

京都府立医科大学

京都府ミュージアムフォーラム

京都外国語大学

株式会社 京都新聞社

ライオンズクラブ国際協会335-C地区

西陣織工業組合

京都南ロータリークラブ

明日の京都文化遺産プラットフォーム

#### 後援

公益社団法人企業メセナ協議会

公益社団法人 関西経済連合会

#### 寄附

日本たばこ産業株式会社

住友グループ

株式会社京都銀行

ダイキン工業株式会社

株式会社五藤光学研究所

公益財団法人稲盛財団

特定非営利活動法人博物館活動支援センター

京阪ホールディングス株式会社

近鉄グループホールディングス株式会社

京都中央信用金庫

一般社団法人京都府歯科医師会

京都信用金庫

メトロポリタン東洋美術研究センター

美樹工業株式会社

三井不動産株式会社

ニチレキ株式会社

株式会社日建設計

日本管財株式会社

日新電機株式会社

日新鉱産株式会社

株式会社奥村組

公益財団法人 泉屋博古館

TABIZURU FOUNDATION

戸田建設株式会社

一般財団法人今日庵

原悟

林 浩二

上月 佳子

千 玄室

芝山 久三

杉井 延子

鈴木 一彦

辻村 英雄

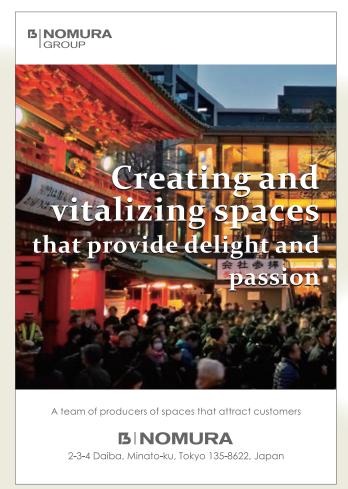
王 少飛

他5名

\*敬称略. 7月31日現在

















ひとりひとりの歌声が、個性を輝かせて素晴らしいハーモニーを奏でるように 技術もまた重なりあって、かつてない価値を生み出していきます。

みんなが夢と理想を描き、実現をめざしてひたむきに努力する。その力をひとつに あらゆるフィールドで想像を超える世界へ。京セラは、挑戦しつづけます。

## かなえたい未来へ。京セラ



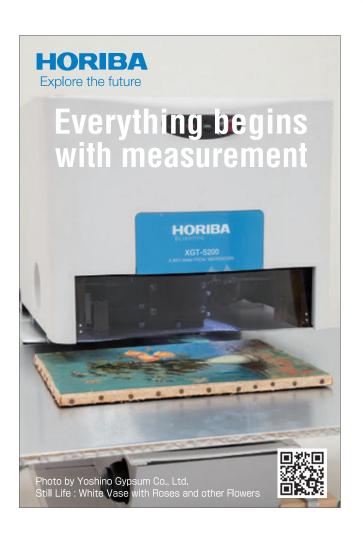


# Goppion Technology Japan

Goppion SpA 58-60 viale Edison Trezzano sul Naviglio(Milano) 20090 Italia info@goppion.com +39 02 484 4971

Goppion Museum Workshop 205 Mt Auburn St Watertown, MA 02472 info@goppion-us.com +1 617 297 2546

Goppion Technology Japan METLIFE AOYAMA BLDG.6F 2-11-16.MINAMIAOYAMA. MINATO-KU.TOKYO.JAPAN



**Canon** キヤノンマーケティングジャパン株式会社

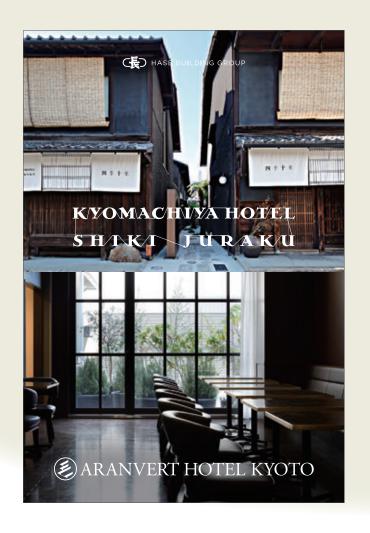


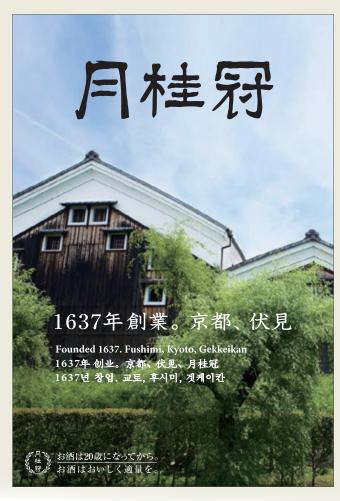
トータルメディア開発研究所は、 お客様の課題を解決する コミュニケーション環境をデザインします。

We offer you a solution through designing your communication.



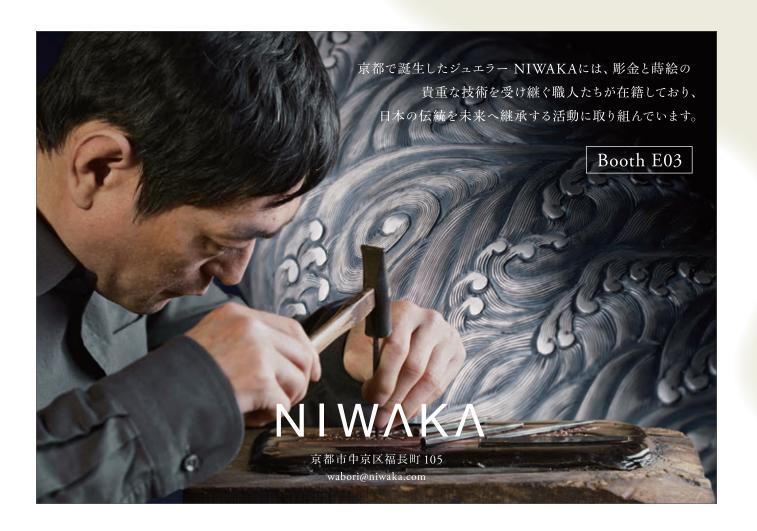
http://www.totalmedia.co.jp/











## JACE日本イベント大賞 MA 経済産業大臣賞 受賞





# MRミュージアムin 京都 MR Musel

hakuhodo-VRAR と wise inc. は京都最古の禅寺といわれる大本山・建仁寺と共同で、国宝「風神雷神図屏風」を題材に Microsoft Mixed Reality を活用した、「MRミュージアム in 京都」を実施。まったく新しい文化財の鑑賞体験が高く評価され、JACEイベントアワード最優秀賞を受賞しました。

詳しくはこちら



https://hakuhodo-vrar.jp/kyoto2018/

hakuhodo - VR AR

wise inc.







#### 公益財団法人 笹川保健財団

笹川保健財団は、ハンセン病問題のない世界をめざし、1974年に設立されました。\*
当財団のハンセン病対策事業は、主に3つの分野から成り立っています。早期発見及び治療を推進するハンセン病の制圧活動\*\*、ハンセン病に罹患した人々の尊厳を回復するためのエンパワメント、そしてハンセン病の歴史の学びを現在及び未来に役立てるための歴史保存活動です。また、ハンセン病対策の他、在宅看護や緩和ケアのための人材育成、そして公衆衛生の分野でも活動を展開しています。これらの事業全体を通じて、「すべての人が自分らしく、よりよく生きてゆける世界」を目指しています。

\* 2019 年 4 月に「笹川記念保健協力財団」から現在の名称へ変更しました。 \*\*ハンセン病は慢性の感染症で、治療薬 MDT (多剤併用療法)により治癒します。

笹川保健財団 HP

https://www.shf.or.jp/

笹川保健財団 SASAKAWA Health Foundation

Tanseisha Group

# こころを動かす空間をつくりあげるために。

Creating space for imaginations to grow.



Your story. Our solution. One space. 空間創造のプロフェッショナル 株式会社 **月青社** 〒108-8220 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス19F TEL | 03-6455-8100 (代表) URL | www.tanscisha.co.jp

## **▼**Tansei INSTITUTE

We offer the best research, design and service to protect, utilize and inherit cultural properties.

> 調査、企画、デザイン、制作の総合力で 「守る」「活かす」「伝える」を実現します



#### Protect 🕫

Research, Consulting, Design

Open Storage of Cultural Property
 / Onjo-ji Temple, Shiga

## Utilize 活かす

Organize, Value Producing

Original Goods (Notepad) / National Institute of Japanese Literature, Tokyo





#### Inherit 伝える

Engineer, Technical Advice

Guidance System/ Japan Heritage Kamakura, Kanagawa

株式会社 丹青研究所 TANSEI INSTITUTE CO., LTD Shinagawa Crystal Square 10F,1-6-41 Konan, Minato-ku, Tokyo 108-0075, JAPAN Tel: +81-3-6455-8280 / Fax: +81-3-6455-8281 https://tanseiken.jp

### ブース No. E23

### あらゆる場所の入口警備を変えるスマートセキュリティゲート

# A I 危険物自動検知 **EVOLV EDGE** TM ボディスキャナ









Evolv Edge は、AI を用いた危険物検知機能で、爆発装置と金属製銃刀類を ウォークスルーで素早く自動検知する危険物検知ボディスキャナゲートです。

- ☑ 銃刀類および非金属性爆発物を検知
- ☑ AIによる危険物自動検知
- ☑ 3~6 秒でボディスキャン
- ☑ 設置時間 15 分
- ☑ 2名で移動可能

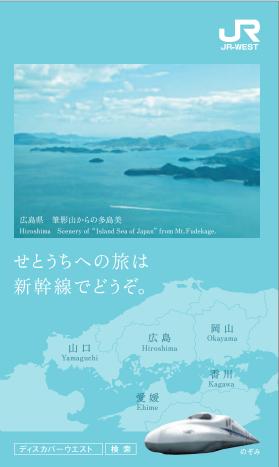
### お問合せ(販売・リース・レンタル)

EvolvEdge 日本総代理店 **ナスクインターナショナル株式会社** TEL:03-6455-4441

E-mail: nasc@nasc-group.com ホームページ:nasc-group.com









夢と希望にあふれた 社会づくりを実現させるために、 わたしたち大成建設は これからも人がいきいきとする環境を 創造します。

地図に残る仕事。\*

### **本** 大成建設

For a Lively World

[1] 存 川 世 在質 [1]



上:明治40年 東洋インキ製造株式会社『設立趣意書(抜粋)』

生活文化創造企 明 私 以 う に 洋 目 対 来 治 まの ち 100 イ 的し 0) か 製造 『学術教育を普 東洋インな 質 と 印刷 1 新 ハープは変わることないう時代を迎えた現在は設立されました。 及させる い 文 化 印 業 創 刷 造 出 で 版

と 事

あ

下:昭和4年頃の印刷インキ色見本帳

**TOYOIN** 東洋インキ株式会社 関西支社 www.toyoink.jp 大阪市北区中之島 3-3-23 中之島ダイビル 24 階 Tel:06-6485-8120

貢

な在



Rakuchū rakugai zu byōbu-Important Cultural Property; Hayashibara Museum of Art

The above is a reproduction that makes use DNP's proprietary technology to achieve both durability and outstanding detail.

# 歴史を未来につなぐ技術。

Technology to Connect the Past with the Future

私たちは、これまで培ってきた印刷技術と情報技術を生かし、 かけがえのない文化遺産の保存と継承に貢献しています。

Applying its expertise in printing and information technologies, DNP is contributing to the conservation of cultural properties, and helping to pass them on to future generations.

www.dnp.co.jp



### ヤマトグループは 2019 年に創業 100 周年を迎えます



貿易物流サービス事業

海外生活支援サービス事業

美術品輸送事業



https://www.y-logi.com/ygl/

### 東京美術品支店

〒135-0062 東京都江東区東雲2-2-3 TEL:03-3529-0801 FAX:03-3529-0857

### 関西美術品支店

〒559-0031 大阪市住之江区南港東4-11-99 TEL:06-6612-8760 FAX:06-6612-8759

### 京都美術品支店

〒612-8454 京都市伏見区竹田泓ノ川町26 TEL:075-602-4193 FAX:075-602-1312



**デヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社** 



8K

SHARP
Be Original.

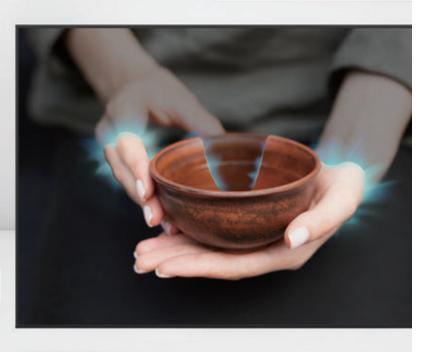
# INTERACTIVE MUSEUM

8Kインタラクティブ ミュージアム ブース E13

現実を超える

「8K超体験展」









コニカミノルタは、 人財をいかす。 だから、 イノベーションが生まれる。

チャレンジングな人財を養成し、 高いモチベーションを維持できる環境をつくる。 多様性を尊重し てイノベーションを創出する。 ビジネス社会、人間社会の進化のために。

https://konicaminolta.com

Giving Shape to Ideas



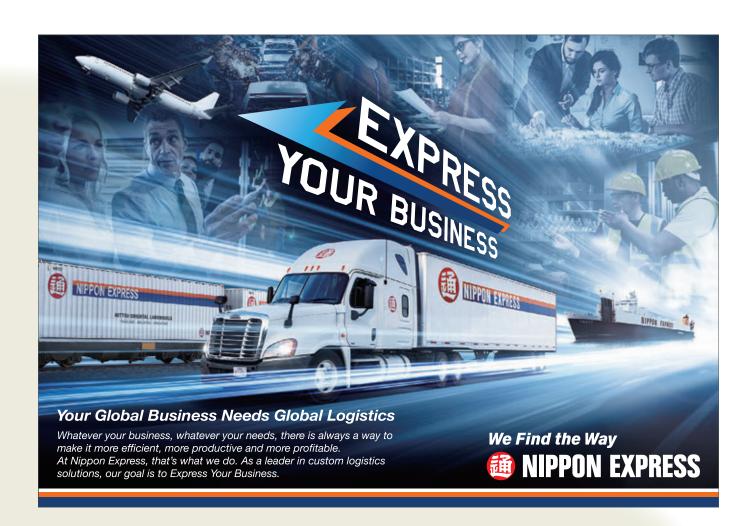








## 



# 歴史の贈りもの、 日本の宝ものを 未来の私たちへ伝えていきたい

大和ハウス工業の創業者・石橋信夫は、 奈良県・吉野の林業の家に生まれ、 何よりも自然を大切にし、和の精神・和の文化を こよなく愛していました。

わたしたちDaiwa Sakura Aidは、 「共に創る。共に生きる。」という精神のもと、 桜と、桜にまつわる歴史や文化、芸術、生活を守り、 後世へと伝えていきます。



Daiwa Sakura Aid

### 吉野山桜保全活動



吉野山に桜育成園を開設し、公益財団法人 吉野山保勝会や地元の桜守、ボランティア の皆さまと協力しながら、シロヤマザクラ の苗木育成事業を行っています。母樹から 種を拾い5年を費やして、1本1本手作業で 育成しています。

### 桜とともに「和」の心をつないでいく



ステークホルダー

株主の皆さま/吉野の現地の皆さま/募金に協力してくださる皆さま 大和ハウスグループ従業員と家族/桜を一緒に植えてくれる子供たちと先生

桜プロジェクト



全国各地域の小学校や幼稚園を中心に、こ どもたちとともに桜の植樹を行っています。 和楽器演奏による生ライブと和楽器体験を 同時に行い、日本文化の素晴らしさと美し さ、自然環境の大切さを伝えています。











天禹文化グループは、中国初の博物館の陣列、設計、設置から運営管理、および国際展覧会の企画から運営実施までワンストップサービスを提供するプロフェッショナルグループカンパニー。

ChinaMuseum International 有限公司は、天禹文化グループの海外支社。 主な業務内容としては国際親善を推進させた国際展覧会の主催企画から実施。



### www.chinamuseum.com

中国博物館協会展覧交流サービスプラットフォーム (China Museums Association Exhibition Exchange Center) は、世界各国の博物館との異文化交流促進の 橋渡しを担う。

中国博物館協会主催の天禹文化グループ及び海外支 社である ChinaMuseum International 有限公司が運 営管理を行っている。

本プラットフォームは、中国文化遺産の本質を受け継ぎ、諸外国の博物館や文化団体と中国の歴史及び文化に対する理解の増進と交流促進を促した展覧文化財の情報発信と相互連携を図る。



天禹文化集団有限会社 住所:郵便番号100-007

中国北京市東城区東四北大街107号科林大廈B座5階

担当: 王凯笛

E-mail: kaidi.wang@chinamuseum.com

ChinaMuseum International有限公司 住所: Crescenzio Street 82, Rome, Italy

担当:钱茜

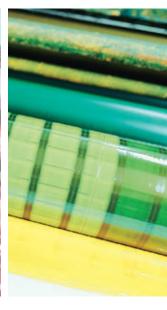
E-mail: qianqian.chinamuseum@gmail.com

# Company Achievements

### 私たちの実績







Aomori Museum of Art Sendai City Museum

Mogami Yoshiaki Historical Museum The Nijagta Prefectural Museum of Modern Art

The Museum of Modern Art, Gunma

Utsunomiya Museum of Art

Ibaraki Ceramic Art Museum

Tokyo National Museum

The National Museum of Modern Art, Tokyo

The National Museum of Western Art

The National Art Center, Tokyo

Tokyo National Research Institute for Cultural Properties

Tokyo Photographic Art Museum

Edo-Tokyo Museum

Museum of Contemporary Art Tokyo

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

Nerima Art Museum Meguro Museum of Art, Tokyo

Kichijoji Art Museum

Tokyo Opera City Art Gallery

Suntory Museum of Art

The Panasonic Shiodome Museum of Art

Yokohama Museum of Art

Yokosuka Museum of Art

Chiba City Museum of Art

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

The Nakamura Keith Harina Collection

Little Museum In A Village Of Picture Books

Takaoka Art Museum

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

Nagoya City Art Museum

Nagoya City Museum

Toyota Municipal Museum of Art

Hekinan City Tatsukichi Fujil Museum of Contemporary Art

Okazaki City Mindscape Museum

青森県立美術館

仙台市博物館

最上義光歷史館

新潟県立近代美術館

群馬県立美術館

宇都宮美術館

茨城県陶芸美術館 東京国立博物館

東京国立近代美術館

国立西洋美術館

国立新美術館

東京文化財研究所

東京都写真美術館

江戸東京博物館

東京都現代美術館

東京都庭園美術館

練馬区立美術館

武蔵野市立吉祥寺美術館

東京オペラシティアートギャラリー

サントリー美術館

パナソニック 汐留ミュージアム

横浜美術館

横須賀美術館

千葉市美術館

DIC 川村記念美術館

中村 キース・ヘリング美術館

小さな絵本美術館

高岡市美術館 金沢 21 世紀美術館

名古屋市美術館

名古屋市博物館

岡崎市美術博物館

豊田市美術館

碧南市藤井達吉現代美術館

静岡県立美術館 三重県立美術館

京都国立近代美術館

京都国立博物館

京都文化博物館

京都市京ヤラ美術館

龍谷ミュージアム

アサヒビール大山崎山荘美術館

国立国際美術館

大阪市立美術館

大阪歴史博物館

藤田美術館

あべのハルカス美術館

東洋陶磁美術館

大阪日本民芸館

奈良国立博物館 兵庫県立美術館

神戸市立博物館

伊丹市立美術館

香雪美術館

神戸ファッション美術館

芦屋市立美術博物館

B.B プラザ美術館

柿衞文庫 滋賀県立近代美術館

滋賀県立陶芸の森

広島県立美術館

広島市現代美術館

島根県立石見美術館

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

福岡県立美術館 北九州市立美術館

九州国立博物館

熊本市現代美術館

Kitakvushu Municipal Museum of Art Kyushu National Museum

Fukuoka Prefectural Museum of Art

Shizuoka Prefectural Museum of Art

Kyoto City KYOCERA Museum of Art

The National Museum of Art, Osaka

Osaka City Museum of Fine Arts

Osaka Museum of History

Abeno Harukas Art Museum

Nara National Museum

Kobe City Museum

Fuiita Museum of Art

The National Museum of Modern Art, Kyoto

Asahi Beer Oyamazaki Villa Museum of Art

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

The Japan folk crafts museum, Osaka

The Hyogo Prefectural Museum of Art

Ashiya City Museum of Art & History

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art

The Shigaraki Ceramic Cultural Park

Hiroshima Prefectural Art Museum

ITAMI CITY MUSEUM OF ART

The Kosetsu Museum of Art

Kobe Fashion Museum

BB Plaza Museum of art

Iwami Art Museum

Mie Prefectural Art Museum

Kyoto National Museum

The Museum of Kyoto

The Ryukoku Museum

Contemporary Art Museum, Kumamoto





17th Floor, NAMBA SkyO 5-1-60 Namba, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka, 542-0076, Japan T:+81 6-6976-3828

T:+81 3-3405-5274 T:+81 6-6976-6677





讀實新聞

読売

読売修りの外の新聞



### 1週間ためし読み無料!

購読・ためし読みのお申し込み、お問い合わせは、読売新聞東京本社販売局開発部

フリーダイヤル (日曜、祝日を除く9:30~

0120-431-159

<sup>定期購読</sup> 3,665円(稅込み)

1部 150円(税込み)

ジャパン・ニューズは読売新聞社が制作・発行する日刊英字紙です。

日常にも、ビジネスにも、生きた時事英語がより深く身につきます。



19 読売新聞







https://www.toppan.co.jp/

### TOPPAN

ح

ふくげん

# スサノオノミコトが病をもた ものを

北斎は、何色の服を着せたのか。

に同じく『國華』に掲載され の白黒写真。数々の文化財の た別の画で、作品が現存する ない明度差をデータ化。さら で読み取り、肉眼では判別でき まず写真を最先端のスキャナ 例のないプロジェクトでした。 けてきた私たちにとっても前 デジタルアーカイブを手が 掲載された明治時代の一枚 手がかりは美術誌『國華』に トッパンに依頼されたのです。 年の時を経て、その復元が しました。それから約100 証文をとる様を描いた大絵馬 らす厄神に悪事を働かぬよう 念なことに関東大震災で焼失 葛飾北斎晩年のこの大作、残 ·須佐之男命厄神退治之図」。

き継いでいく。復元を待つ作 らない感動までを後世に引 財から、実物を見るのと変わ 見ることのできなかった文化 とができました。資料でしか (幅約2m7㎝)で蘇らせるこ 求め約2年、ついに原寸大 らを融合し、失われた色を よく知る専門家の叡智。これ 職人の眼、北斎の晩年の画を いを読み解く文化財修復の と、北斎が用いた絵具や筆遣 定していく…。デジタル技術 とで可能性の高い配色を推 て様々な史料を比較するこ とグレーの濃淡の関係、そし 法を再現しました。絵具の色 真が撮られた当時の撮影技 ものを調査。そこから白黒写

品は、まだまだありそうです。

### TOPPAN

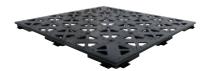




# 



Free-Standing Seismic Isolation Platform Model TBM



Seismic Isolation Module Model TGS



Seismic Isolation Table Model TSD



www.menshin.biz/ icomkyoto2019

国際博物館会議 京都大会



THK は、ICOM KYOTO2019 に協賛しています。 No.E15

### Seminar

THK Seismic Isolation: Protecting Cultural Assets from Earthquakes.

文化財を地震から守るTHK免震

► Mon, Sep 2nd 16:45-17:35

▶ Wed, Sep 4th 11:10-12:00

9月2日(月) 16:45-17:35 9月4日(水) 11:10-12:00





フィンセント・ファン・ゴッホ Vincent Van Gogh (1853-1890) ヒマワリ Sunflowers 1888 年 98×69cm 1945 年兵庫県芦屋市にて焼失 Destroyed during the Second world war

### ゴッホの幻のヒマワリを陶板で原寸大再現

ゴッホは 1888 年~ 1889 年にかけて、南フランスのアルルで花瓶に入った「ヒマワリ」を 7 枚描きました。そのうちの 2 枚目にあたる本作品は、背景がロイヤルブルーで描かれ、さらにゴッホがオレンジに彩った木枠が付けられているなど、「ヒマワリ」の連作の中でも特徴的な作品です。

1920年に大阪の事業家山本顧弥太氏が武者小路実篤氏ら白樺派の依頼を受けて購入し、日本に招来されました。かつて兵庫県芦屋市の山本氏の邸宅にあった作品は、1945年8月6日阪神大空襲により焼失してしまいましたが、陶板名画の技術でよみがえりました。

Appreciation route is about 4 km. Over 1,000 Western masterpaintings reproduced on ceramic boards in their original sizes.

古代から現代まで鑑賞ルート約4km 西洋名画 1,000余点を陶板で原寸大に再現



大塚国際美術館 OTSUKA MUSEUM OF ART

http://www.o-museum.or.jp/ Mail info@o-museum.or.jp

入館料

)一般:3,240円/大学生:2,160円/小中高生:540円 いずれも消費税等込 消費税の税率が変更された場合は、変更された税率にもとづき料金を変更いたします。

Admission fees Adults ¥3,240 University students ¥2,160 Elementary, Jr. High and High school students ¥540 (All specified prices include consumption tax.)

〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内 TEL 088-687-3737

9時30分~17時(入館券の販売は16時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) その他特別休館あり 8月無休





Naruto Park,Naruto-cho,Naruto-shi,Tokushima Hours 9:30 a.m. to 5:00 p.m. ※Ticket Counter closes at 4:00 p.m..

Closed Monday (The following day when Monday falls on a national holiday). Please note that the Maintenance closure period is set in January. The museum is also closed on special occasions. Opens every day in August.

# セラミックアーカイブ from **JOMON**

Ceramic Archive from JOMON

陶板による複製で文化財の保存・活用に取り組んでいます。

We work on preservation and utilizing of cultural properties with ceramic boards reproduction.

Traditional Japanese culture and art, experience them with ceramic boards reproduction to see and touch for feel

Aug.29 Sep.11

ICOM related project

琳派の屏風絵を陶板で再現! Reproducing Rinpa's folding screen on ceramic boards 'Toban'

建仁寺 Kennin-ji Temple, Kyoto





OTSUKA OHMI CERAMICS CO.,LTD.







### Wassily KANDINSKY

Self-Illuminating, 1924

Scenes in and around Kyoto (detail), Edo period

FUJISHIMA Takeji

Black Fan, 1908-09

Gino SEVERINI

Trombone Player (Player on the Street), c.1916

# **2020** Opening in Tokyo January

# **ARTIZON MUSEUM**







### ブリヂストン美術館からアーティゾン美術館へ

東京·京橋のブリヂストン美術館は新美術館建設のため長く休館していましたが、2020年1月に「アーティゾン美術館」という新館名の下で開館します。

新しいアーティゾン美術館では、新築の建物・設備はもとより、展覧会、教育普及など、 美術館としての活動も大きく変わります。ブリヂストン美術館の67年にわたる歴史を 引き継ぎながら、世代、地域を超え、今後ともさまざま方に美術の多彩な楽しみを提供してまいります。 どうぞご期待ください。



2020年1月オープン

公益財団法人石橋財団 アーティゾン美 i 旅

東京都中央区京橋1-7-2

# TOBACCOS SALEMANNA SALEMAN

Let's explore the history and cultures surrounding tobacco and salt.

Highlights!



Permanent Exhibition "The World of Salt"



Permanent Exhibition
"History and Culture of Tobacco"



4.13×2.91×0.81cm



writing box with motif of the rabits drawn in *maki-e* lacquer work





chest of drawers made of ivory

Amazing!

Special Exhibition

Tobacco and Salt Museum Miniature Collection

September 7 - December 1, 2019

Please enjoy our exquisite and amazing miniature collection.



1-16-3, Yokokawa, Sumida-ku TOKYO 130-0003 \*Our museum is located near the Tokyo Sky Tree. Phone +81-3-3622-8801

